

災害後の保健活動における現状と課題
報 告 書

平成29年3月

全国保健師長会福島県支部

目 次

1	はじめに	1
2	目的	2
3	方法	2
	(1) 対象者	2
	(2) 調査期間	2
	(3) 調査方法	2
	(4) 調査内容	3
	(5) 分析方法	3
	(6) 倫理的配慮	3
4	結果	4
5	考察	14
6	まとめ	15
7	参考文献	16

■資料編

- 調査依頼文及び調査票
統括保健師宛 調査票A
保健師宛 調査票B
- 統括保健師に関する調査結果
- 保健師に対する調査結果

1 はじめに

東日本大震災によって、保健師が行う保健活動の対象である地域は、震災前と比べて、住民の流出・人口構造の変化・住まいの変化等、大きな変化を生じている。また、保健師自身も、避難生活や心理的側面を含め大きな環境の変化を生じていると考えられる。

保健師の離職率については、被災3県で平成22年度末には2.6%であったものが平成23年度から28年度で平均4.7%と増加しており、被災3県を除く44都道府県の離職率3.9%と比して高い傾向にある。

また、被災地で働く保健師からは「保健活動に様々な困難がある」という声を聴くが、職場としての体制上の課題・事業の優先性の選択に関する課題の有無、保健活動の課題と推進すべきことについて明らかにする必要があると考えた。そこで、困難な状況であっても保健師自身の職務満足感をもたらしている要因があるとするれば、それらの要因を高めることで、困難な状況に立ち向かうことができるのではないかと考え、本研究に取組むこととした。

調査の結果、保健師の高い使命感が感じられるものであった。しかし、心身の健康に関する問題も浮き彫りにされており、住民を支える保健師の健康問題は重要な課題である。また、長期化する被災者支援の一方で進む復興、地域の再構築、そして待たなしの制度改正などがあり、保健師を取り巻く情勢は目まぐるしく変化している。それでも地域に根ざした保健活動に軸足を置きたいという強い意志が感じられるものであった。

この調査結果が被災地の保健師のエールになり、今後、万が一の大規模災害が発生した際の参考にしていいただければと願う。

最後に、本研究を実施するにあたり、ご協力をいただきました関係者の方々に對しまして、深謝いたします。

<研究実施者>

統括者：中島誠子（福島県相双保健福祉事務所）

メンバー：遠藤智子（福島県保健福祉部健康増進課）

斎藤恵子（福島県郡山市保健所）

古山綾子（福島県相双保健福祉事務所いわき出張所）

山田祐子（福島県南相馬市）

吉野優子（福島県いわき市保健所）

アドバイザー：後藤あや（福島県立医科大学）

松本珠実（国立保健医療科学院）

2 目的

東日本大震災によって大規模な被害に見舞われた市町村に勤務する保健師に対してアンケートを実施し、保健師が行う保健活動の現状及び理想とする保健活動及びそのギャップ、職務満足感をもたらしている要因について明らかにすることを目的とする。

3 方法

(1) 対象者

2011年3月11日に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故で被災した東北3県（岩手県、宮城県、福島県）のうち、地震と津波による被害、さらには原子力発電所事故にともなって避難を強いられた地域を有する市町村（岩手県12か所、宮城県15か所、福島県15か所）を対象とし、対象市町村の保健福祉分野で活動する常勤（正規雇用）保健師を対象とした。

なお、宮城県仙台市及び福島県いわき市については、被害の大きかった地区を管轄する保健センター等に勤務する保健師とした。

また、調査票は各市町村の統括保健師向けと全保健師向けの2種類であり、統括保健師は2つの調査票の対象とした。

(2) 調査期間

平成28年11月～平成28年12月

(3) 調査方法

調査対象となる市町村の統括保健師あてに下記2つの自己記入式アンケートを送付し、調査Aは統括保健師が記入、調査Bは統括保健師から当該市町村に在籍する対象保健師（非常勤や任期付き職員は除外）に配付してもらった。回答記入後は、統括保健師が個別封筒に入った調査Bを回収の上、調査Aと合わせてまとめて返送された。

調査A：災害後の保健師活動における現状と課題調査（統括保健師）

調査B：災害後の保健師活動における現状と課題調査（保健師）

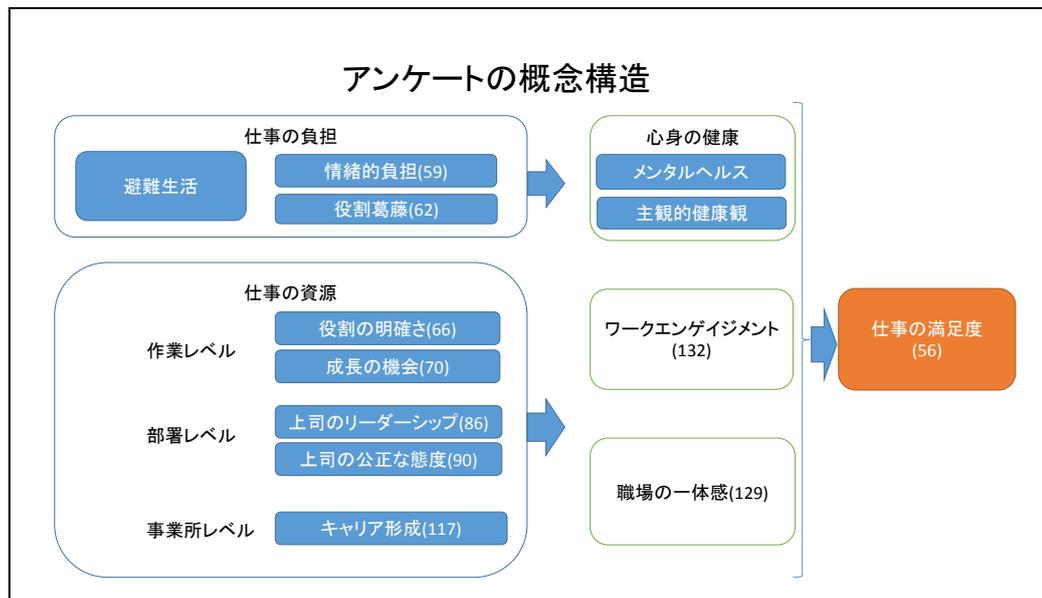
(4) 調査内容

調査 A：統括保健師対象

市町村の保健師の状況・保健活動体制・優先している事業と本来優先すべきと考えている事業・保健活動の課題と推進すべきこと

調査 B：保健師対象

保健師自身の心身の健康状態・保健活動の課題と推進すべきこと・職業性ストレス等



() は職業性ストレス簡易調査票の番号

(5) 分析方法

解析は、対象者の勤務場所により、岩手県・宮城県・福島県の3群に分類すると共に、行政経験年数別、年代別、避難履歴の有無で行った。解析方法はExcelを用いてカイ二乗検定を行い、職業性ストレスについてはt検定、自由記載については、KHcoderにより分析を行った。

(6) 倫理的配慮

調査の回答は、任意であること、回答しなくても不利益を被ることはないこと、無記名であり、個人が特定されることはないこと、集計は統計的・集約的に処理を行い、得られた情報は、調査以外に使用しないことを依頼文書に明記した。

なお、本調査は、福島県立医科大学の倫理審査会の承認を得て調査を実施した。

(受付番号 2862 承認日平成 28 年 9 月 28 日)

4. 結果

【回答率】

調査の種類	対象	回答数	回答率 (%)
統括保健師 (調査A)	42人	32人	76.2
保健師調査 (調査B)	483人	305人	63.1

(1) 被災地における保健活動の実態

1) 保健師等の状況

- ①保健師の配置数は、3県とも人口と相関関係が認められた (図1)。
- ②保健師総数における正規職員の割合が81.6%、任期付及び派遣が7.5%、臨時・嘱託職員が10.9%であった。
- ③保健師以外の看護師や栄養士等の専門職種については、自治体により、ばらつきがあるものの栄養士においては、他の職種と比較して多くの自治体で配置されていた。
- ④保健医療職の保健師の割合においては、福島県が最も高い状況であった (図2)。
- ⑤震災後の保健師の退職については、3県ともに定年退職よりも中途退職が多くを占め、約7割 (66人) を占めていた (図3)。
- ⑥震災後は、3県ともに退職者数よりも採用数が上回っていた (図4)。
- ⑦勤務年数の分布では、20年以上が35.0% (130人) と最も多く、ついで5年未満が27.8% (103人) となっていた。特に福島県においては、5~10年が9.5% (11人) と著しく少なくなっていた。 (図5)。

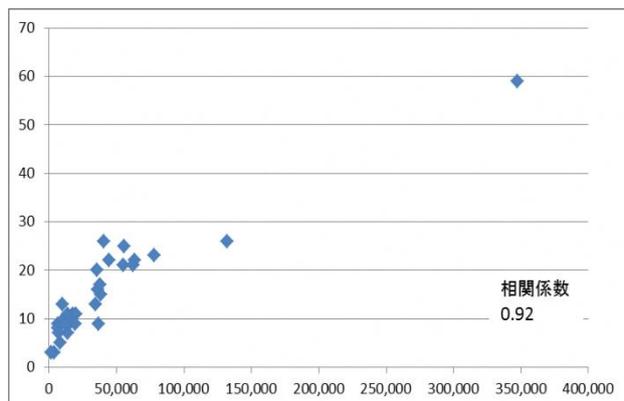


図1 人口と保健師数 (任期付等を含む)

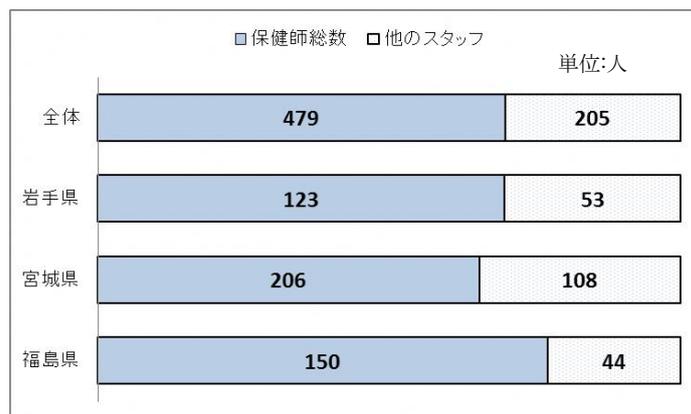


図2 保健医療職における保健師 (任期付等を含む) の割合

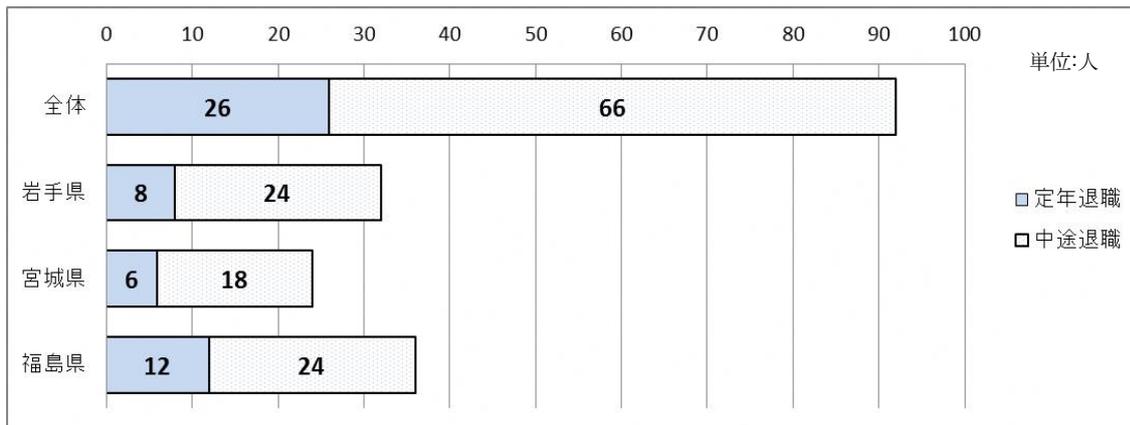


図3 震災後の退職者の内訳

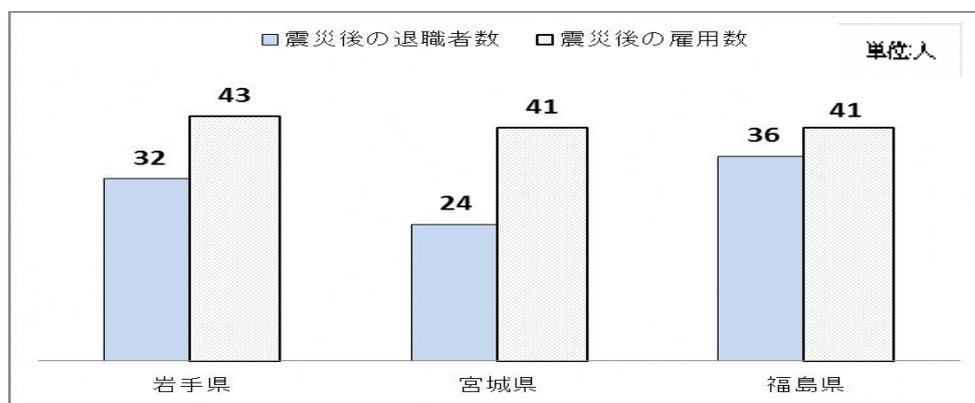


図4 震災後の退職者数と採用者数

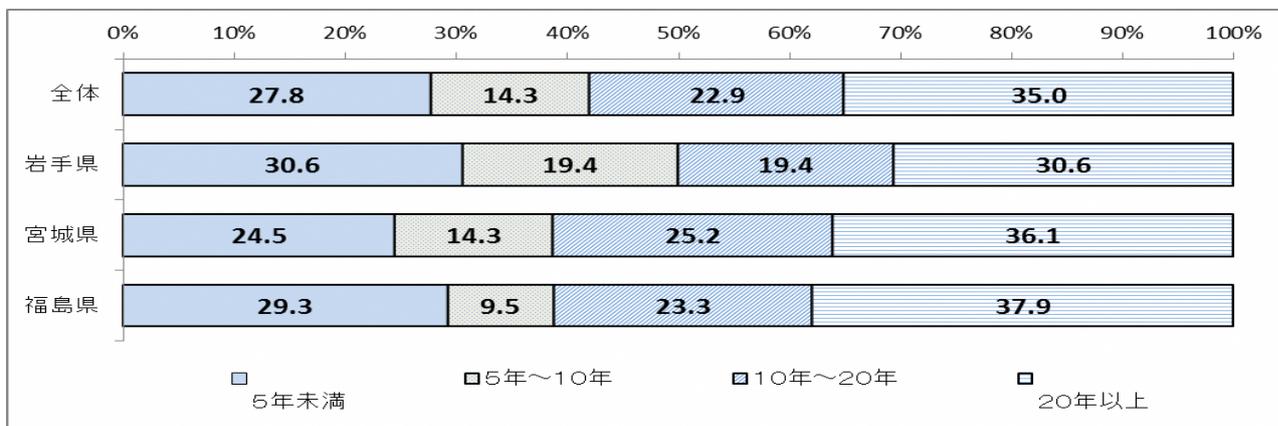


図5 勤務年数別分布

2) 保健師活動体制

- ①地区分担制をとっていると回答した自治体は無く、地区分担と業務分担の併用が84.4%と一番多かった。
- ②保健師間の話し合いの場合は、84.6%の自治体が何らかの話し合いはなされているが、38.5%は組織横断的な話し合いはないと回答していた。

3) 人材育成について

人材育成のガイドラインのあると回答した自治体は、12.5%、プリセプター制を実施している自治体は、29%となっていた。

4) 優先している事業と優先すべき事業（図6）

①分野別にみると健康づくりは一致している自治体が多かった。

②福島県は一致していない自治体が他の2県よりも多かった。

単位：自治体数

①母子保健事業							
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計
0		0		0	3	30.0	3 10.3
1	1	16.7		0.0	1	10.0	2 6.9
2	1	16.7	4	30.8	4	40.0	9 31.0
3	4	66.7	9	69.2	2	20.0	15 51.7
総計	6	100.0	13	100.0	10	100.0	29 100.0
②障がい者保健福祉対策							
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計
0		0		0	1	12.5	1 3.6
1		0	2	16.7	2	25.0	4 14.3
2	1	12.5	5	41.7	1	12.5	7 25.0
3	7	87.5	5	41.7	4	50.0	16 57.1
総計	8	100	12	100.0	8	100.0	28 100.0
③健康づくり							
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計
0	1	12.5		0.0	2	20.0	3 9.7
1		0	1	7.7		0.0	1 3.2
2		0	1	7.7	2	20.0	3 9.7
3	7	87.5	11	84.6	6	60.0	24 77.4
総計	8	100	13	100.0	10	100.0	31 100.0
④高齢・介護対策							
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計
0		0.0		0.0	2	20.0	2 6.5
1	2	25.0	2	15.4		0.0	4 12.9
2		0.0	7	53.8	3	30.0	10 32.3
3	6	75.0	4	30.8	5	50.0	15 48.4
総計	8	100.0	13	100.0	10	100.0	31 100.0

図6 優先している事業と優先すべき事業 ※一致数 優先している事業と優先すべき事業が一致している事業数

(2) 保健師の状況について

1) 行政経験年数について

保健師の行政経験年数の割合をみると、20年以上が36.1%（110人）と最も多く、特に福島県では、47.9%（34人）とほぼ半数となっていた（図6）。

2) 年代について

年代別では、30代が岩手県、宮城県では、4割近くを占めているが福島県では15.5%（11人）であった。また、福島県は、50代以上が40.8%（29人）となっており、全国（平成26年度衛生行政報告例の概況）と比較しても福島県は30代が少なく、50代が多い結果になっていた（図8）。

3) 避難の状況について

避難履歴については、「現在仮設等に住んでいる」「自宅を新築した」「過去に避

難していた」と答えた人は全体では 27.2%であったが、福島県は 35.2%であった。

4) 主観的健康観について

「自分は健康だと思うか」という質問に対し、「まあ健康」が 81.0% (247人) と最も多く、次に「あまり健康ではない」が 12.5% (38人)、「非常に健康」が 3.9% (12人)、「健康ではない」が 2.3% (7人)であった。年代別、行政経験年数別、避難履歴別で有意差は認められなかった(図9)。

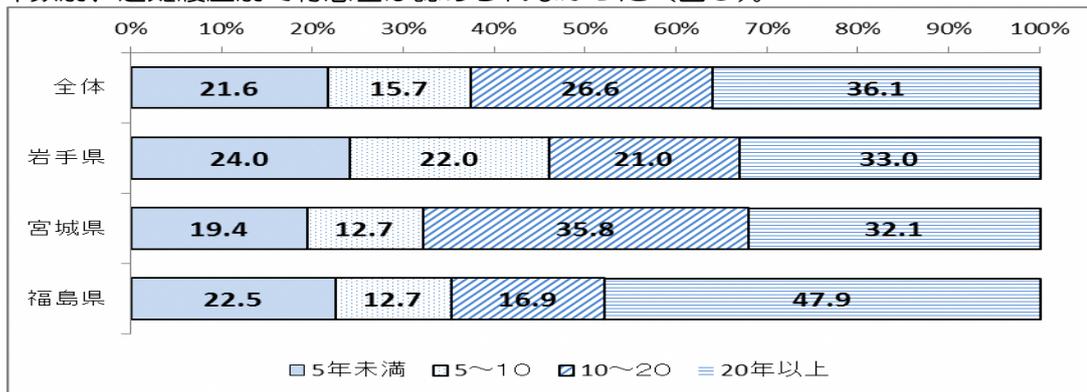


図7 行政経験年数割合

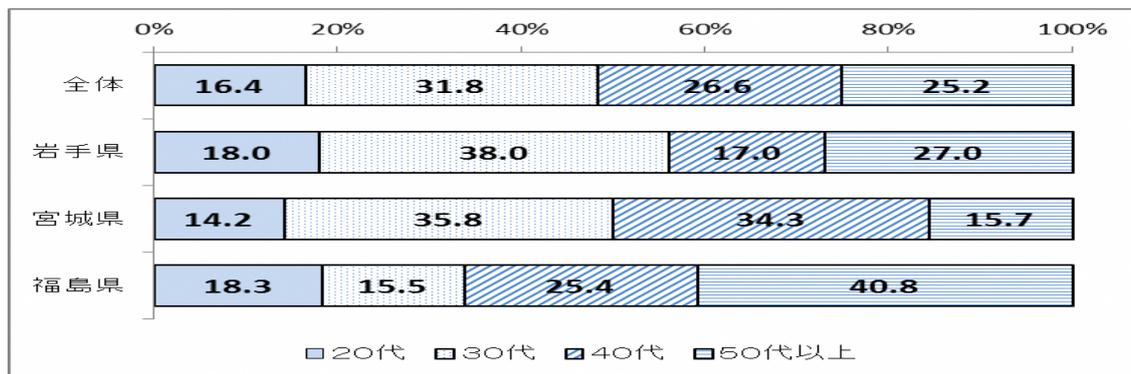


図8 年代別割合

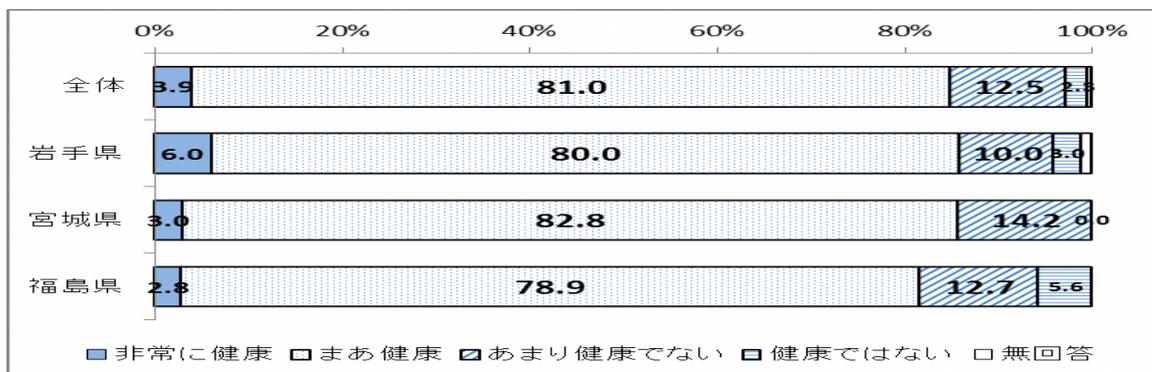


図9 主観的健康観

5) メンタルヘルスについて

①「ここ最近1カ月間、気分が落ち込んだり、憂鬱な気持ちになったりすることがよくありますか」

- i 「はい」の割合が全体で40.7%（124人）であった。
- ii 経験年数別では、「はい」の割合が、10年未満では50.4%（25人）、10年以上では35.4%（27人）と10年未満が、10年以上よりも有意に高かった。（P値0.01）。
- iii 年代別では「はい」の割合が30代以下で47.3%、40代以上で35.3%と30代以下が40代以上よりも、有意に高かった（P値0.034）
- iv 避難履歴別では、「気分の落ち込みあり」が「避難履歴あり」で52.4%（43人）、「避難履歴なし」が36.8%（81人）で、避難履歴ありが避難履歴なしよりも有意に高かった（P値0.01）。

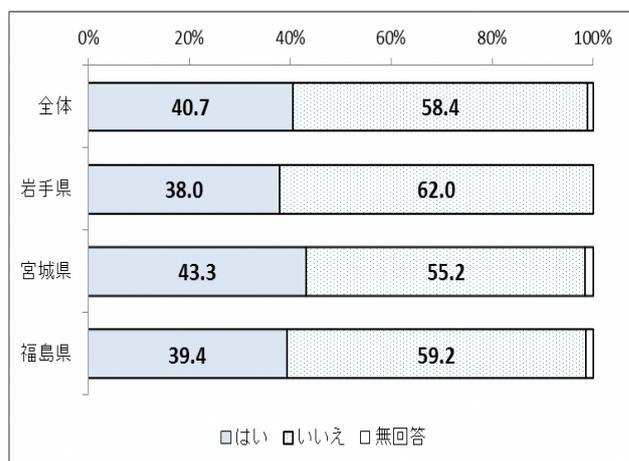


図 10 気分の落ち込み(県別)

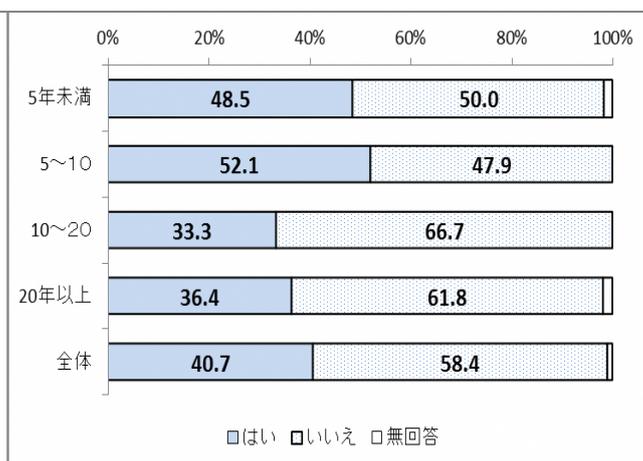


図 11 気分の落ち込み(行政経験年数別)

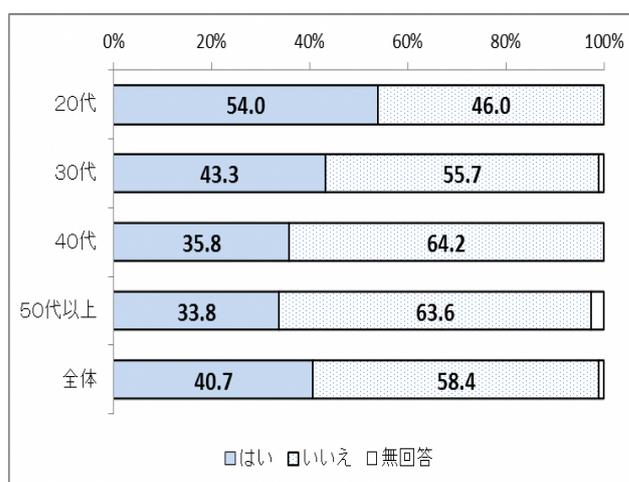


図 12 気分の落ち込み(年代別)

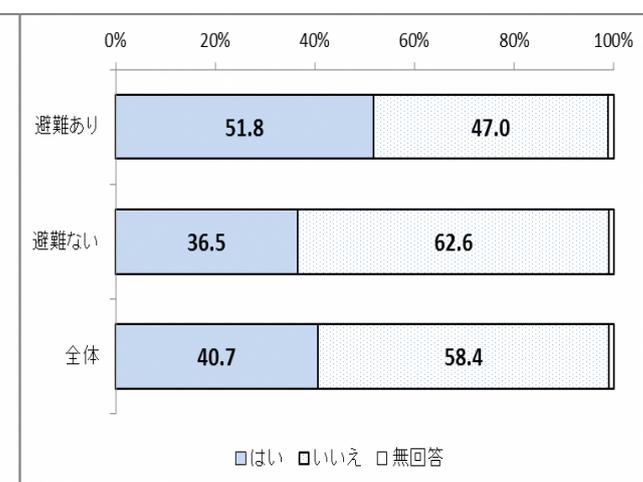


図 13 気分の落ち込み(避難履歴)

②「ここ最近、1ヶ月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」

i 「はい」の割合が全体で27.1%（82人）であった。

ii 行政経験年数、年代、避難履歴について、有意差は認められなかった。

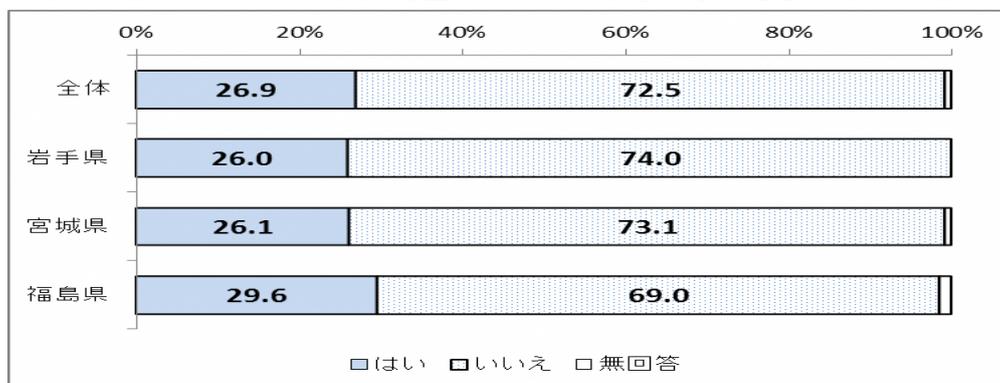


図 14 興味がわかない（県別）

③うつ傾向について

i ①、②の設問に対して2項目が「はい」の割合は全体で24.6%（75人）、1項目が「はい」の割合は19.7%（60人）、1項目以上「はい」の割合が44.4%であった。

ii 2項目「はい」と1項目が「はい」の割合について、経験年数では10年未満が53.5%、10年以上が38.9%と10年未満が有意に高かった（P値0.013）。

iii 避難履歴別については、避難履歴ありが56.6%、避難履歴なしが39.8%と避難履歴ありが避難履歴なしよりも有意に高かった（P値<0.01）。

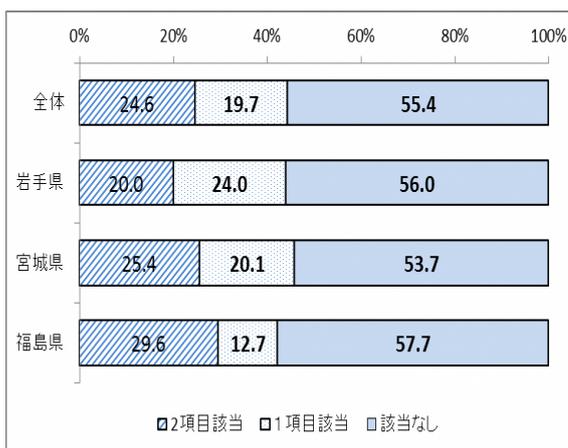


図 15 うつ傾向（県別）

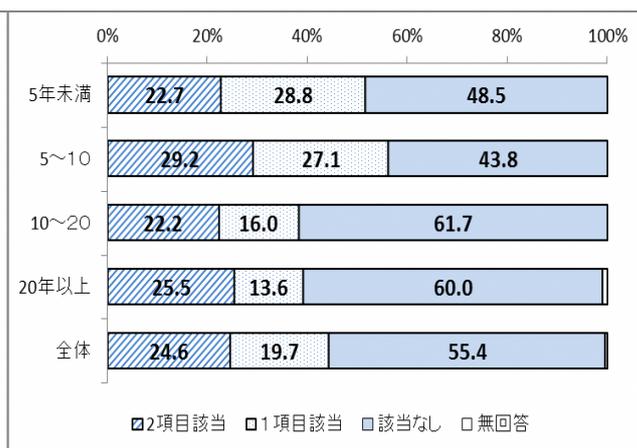


図 16 うつ傾向（行政経験年数別）

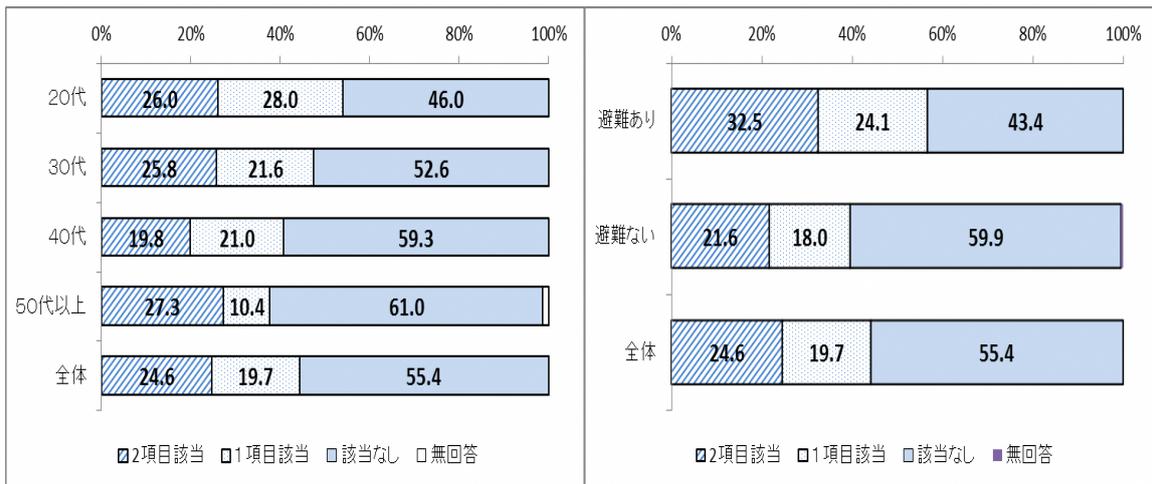


図 17 うつ傾向（年代別）

図 18 うつ傾向（避難履歴別）

6) 職業性ストレス

職業性ストレスの10項目は、行政経験年数・年代別・避難履歴について、平均と及び標準偏差を算出し、t検定を行った。仕事の満足度、役割の明確さ、成長の機会、上司のリーダーシップ、上司の公正な態度職場の一体感、ワークエンゲイジメントには有意差はなかったが、情緒的負担、役割葛藤、キャリア形成では有意差があった。

① 仕事の満足度

平均値は 2.71 であり、経験年数・年代・避難履歴で有意差は認められなかった。

② 情緒的負担

平均値は 2.02 であり、年代別では 30 代以下が 1.92、40 代以上が 2.11 と 30 代以下では、情緒的負担を感じている者が有意に高かった（P 値 0.04）。

③ 役割葛藤

平均値は 2.66 であり、避難履歴では「あり」が 2.49、「なし」が 2.72 と避難履歴がある方が、役割葛藤を感じている者が有意に高かった（P 値 0.044）。

④ 役割明確さ

平均値は 3.18 で経験年数、年代、避難履歴で有意差は認められなかった。

⑤ 成長の機会

平均値は 2.81 で経験年数、年代、避難履歴で有意差は認められなかった。

⑥ 上司のリーダーシップ

平均値は 2.78 で経験年数、年代、避難履歴で有意差は認められなかった。

⑦ 上司の公正な態度

平均値は 3.02 で経験年数、年代、避難履歴で有意差は認められなかった。

⑧キャリア形成

平均値は 2.48 で経験年数では 10 年未満が 2.62、10 年以上で 2.40 であり、10 年未満で有意にキャリア形成がなされていた（P 値 0.024）

⑨職場の一体感

平均値は、2.81 で経験年数、年代、避難履歴で有意差は認められなかった。

⑩ワークエンゲイジメント

平均値は、3.00 で経験年数、年代、避難履歴で有意差は認められなかった。

（3）統括的保健師について

1）課題に感じていること

統括保健師が保健師活動の課題として強く感じていることでは、組織内の課題として「組織横断的に活動する体制」、「統括保健師の組織上の位置づけ」、「統括保健師の役割が不明瞭」などであり、人材育成においては、「マンパワー不足」、「計画的な人材育成ができない」ことなどであり、さらに、地域活動においては、「地区に根ざした保健活動ができない」、「組織横断的な話合いの場がない」「業務に追われ地区診断ができない」などであった。

また、被災地の特徴として、「避難帰還転入により地域の課題が見えない」との回答もあった。

表 1 課題に感じていること（統括保健師）

*カテゴリ	主な記載内容
保健（17） 活動（15）	組織横断的に活動する体制、地区に根ざした保健活動ができない、マンパワー不足、統括保健師の組織上の位置づけ、統括保健師の役割が不明瞭、したい活動とすべき活動の乖離の解消、地区組織活動の活性化
業務（12）	業務量に見合った人員配置となっていない、震災対応と通常業務により多忙、目の前の仕事に追われ業務整理が困難、分散配置による業務の全体把握の困難性
人材（11） 育成（10）	人員の確保と人材育成、計画的な人材育成ができない、中堅期保健師の人材育成、
組織（8） 地区（8）	組織横断的な話合いの場がない、課題が共有できない、業務に追われ地区診断ができない、地区担当者による保健活動の伝承
配置（8）	分散配置のため協力・相談ができない、業務量に見合った人員配置となっていない、分散配置による業務の全体把握の困難性
課題（7） 困難（7）	避難帰還転入により地域の課題が見えない、市全体の健康課題を共有する機会がもてない、

*KH Coder でリストされた頻出語で、（ ）は出現回数

2) 推進すべきと考えていること

統括保健師が保健活動で推進すべきと強く感じていることについては、保健活動では、「組織横断的な保健活動の推進」、「統括保健師の配置」、「地域診断に基づいた保健活動」などであり、人材育成においては、「人材育成の体制づくり」、「人材育成のガイドラインの作成」などであり、さらに、組織内においては、「組織横断的な話合いの場と課題の共有」、「組織内及び関係機関との連携」などであった。

また、被災地の特徴として、「長期的被災者支援体制と地域づくりの構築」との回答もあった。

表2 推進すべきと考えていること（統括保健師）

カテゴリ	主な記載内容
保健(19) 活動(13)	組織横断的な保健活動の推進、統括保健師の配置、地域コミュニティを生かした保健活動、地域診断に基づいた保健活動、組織的な保健師活動の整理、住民・関係者との協働による地区活動
育成(13) 人材(12)	人材育成の体制づくり、人材育成のガイドラインの作成、人材育成と人事配置の計画立案の共有化、新任保健師の人材育成
地域(9) 連携(9)	地域診断に基づくPDCAサイクルの強化、地域に根ざした保健活動の推進、長期的被災者支援体制と地域づくりの構築、各分野の保健師連携のための話合い、
事業(8) 推進(8) 組織(8)	事業の見える化、事業評価、地区診断を行い優先順位をつけた事業構築、組織横断的な話合いの場と課題の共有、組織内及び関係機関との連携、地域コミュニティでの健康づくり推進

*KH Coder でリストされた頻出語で、() は出現回数

(4) 保健師活動について

1) 課題と考えていること

保健師が保健師活動の課題として強く感じていることでは、住民側の課題として、「地域のつながり、住民同士の関係の希薄さ」、「地域力の低下」、「健康意識が低いこと」などを、保健師側の課題として、「地域づくり」、「地域診断ができていないこと」、「保健師間の連携不足」、「人材育成」、「人員不足」、「業務の増大」などがあげられた。

表3 課題と考えていること（全保健師）

カテゴリ	主な記載内容
地域(71) 地区(22)	地域コミュニティの再編、地域のつながり、住民同士の関係性の希薄、地域とのつながり、地域づくり、地域特性に合わせた保健活動、地域のアセスメント、地域診断能力不足、地区組織づくり、地域に出る機会が少ない
保健(84)	分散配置による保健師間の連携、保健師同士のつながり、縦割りの保健活

	動、人材育成、保健師の若年化
業務(46)	震災後の支援と通常業務による業務増大、事務業務が多い、業務の目標・目的がはっきりしない
活動(39)	予防活動ができない、経験が浅く保健活動をどうしていいか、保健活動の評価、保健活動のフィールド拡大、保健活動のビジョンの明確化
不足(38)	住民ニーズ把握不足、人員・人材不足、スーパーバイズ機能の不足、中堅保健師の不足、自分自身の勉強不足、連携不足
健康(32)	健康意識レベルの差が大きい、健康格差、住民の健康意識の低さ、住民の健康に関する価値観の変化、健康づくりの意識づけ

*KH Coder でリストされた頻出語で、() は出現回数

2) 推進すべきと考えていること

保健活動で推進すべきと強く感じていることについては、「地域づくり」、「訪問等の地区活動」、「保健師間の連携強化」、「健康づくり」、「生活習慣病予防、重症化予防」、「介護予防」、「住民との協働」、「住民の力を引き出す」などの活動をあげている。

表 4 推進すべきと考えていること（全保健師）

頻出語	主な記載内容
地域(81) 地区(22)	地域づくり、住民との協働、地域の人材育成、地域包括体制整備、地域での支え合い、地域診断に基づく事業実施、地域の見守り体制、地区活動、地区組織づくり
保健(58)	保健師間の連携強化、組織横断的な保健活動、統括保健師の存在、保健指導スキルの向上、新任期保健師の人材育成
健康(55)	健康に関する知識の底上げ、健康づくり、心・青年期・成人・働き盛りの健康づくり、
予防(51)	生活習慣病予防・重症化予防、介護予防、閉じこもり予防、虐待予防、自殺予防、アルコール問題予防、う歯予防、
住民(49)	住民との協働（共働）、住民参画、住民自身による健康増進、住民同士の支え合い、住民の力を引き出す

*KH Coder でリストされた頻出語で、() は出現回数

5. 考察

(1) 組織の中での保健師の位置づけ

- ① 被災地における保健師の配置数は、人口が多いほど配置されている傾向にある。しかし、震災後の中途退職の増加に伴い、新採用職員が増加したことで中堅職員の割合が減少し、年齢構成が大幅に変化している。また、統括的保健師の自由記載では、マンパワー不足や計画的な人材育成ができないなどがあげられていた。このことから、長期的な人材確保、計画的な人材育成や配置のあり方等が課題と考えられる。
- ② 統括的保健師については、配置の推進や役割を明確化することで、部署横断的な話し合いや地域の課題の共有化することにもつながってくると考えられた。

(2) 保健活動の体制

地区分担と業務分担の併用が多くを占め、完全な地区担当制をとっている自治体はない状況であった。また、自由記載においては、地区診断を踏まえた地域活動ができないこと、地域のつながりやコミュニティが希薄になっていることがあげられていた。一つの自治体に被災した地区とそうでない地区がある場合や全域が避難地域にある場合、更には震災から6年が経過し、避難・帰還・他市町村からの転入等で地域の課題が見えない等の意見もあり、被災地における地域に根ざした保健活動のあり方、そして復興が進んでいく中での長期的被災者支援体制と地域づくりが今後の課題である。

(3) 保健師の主観的健康観

保健師の主観的健康観については、「あまり健康ではない」が12.5%、「健康ではない」が2.3%であった。これは、平成27年度に福島県立医科大学が実施した「平成23年度妊産婦に関する調査フォローアップ調査結果報告」（以下妊産婦フォローアップ調査）では「あまり健康ではない」が8.4%、「健康ではない」が1.1%であり、妊産婦調査フォローアップ調査と比較し、「健康でない」と回答した方が高い状況にあり、主観的健康観は高い状況とは言えない。

(4) 保健師のメンタルヘルスについて

うつ傾向の割合が、同じ質問項目を使っている福島県の県民健康調査妊産婦に関する調査で行ったフォローアップ調査（産後4年目、平成27年度うつ傾向26%）や職域で行った先行研究（3企業での調査、23%）と比較し、高い傾向にあった。更には10年未満の保健師、避難履歴のある方にうつ傾向が多く、被災地では保健師自身も被災していることもあり、生活基盤が不安定な状態はメンタル面への影響も考え

られる。小林ら⁷⁾は災害支援活動を行った看護職者の心身の変調について、心理的外傷性ストレス症候群の高危険者は自身が被災した看護職者であったことを明らかにしており、本研究結果は同様の傾向を示していると考えられた。保健師全体へのケアも必要ではあるものの、家庭状況等を踏まえた上での配慮が必要であろう。

(5) 職業性ストレス

- ①調査結果では「仕事が満足だ」「自分の仕事に誇りを感じる」など職務満足に関する肯定的な回答が高い割合を示している。理由としては、保健師としての責任感の強さに加え上司や同僚との良好な職場環境が確保されていると思われる。
- ②「感情面で負担になる仕事だ」の項目については、年代別では30代以下が40代以上に比べて有意に認識していた。このことは、中堅期に入り、求められる役割や周囲の期待が大きくなる年代になり、情緒的な負担感を高めていると考えられる。
- ③「複数の人からお互いに矛盾したことを要求される」の項目については、避難履歴がある方が避難履歴のない方より有意に感じていることは、仕事とプライベートの間で、矛盾した要求体験をしていることが考えられる。
- ④「意欲を引き出したり、キャリアに役立つ教育が行われている」の項目については、保健師の経験年数が10年未満者が10年以上に比べて有意に認識していた。保健師になって10年間は、対人保健事業部門に配置されることが多いことや事業と教育の整合性をとりながら、研修・教育を受けており、その教育が自分のキャリアに関係することを十分認識していることが考えられる。

6. まとめ

被災地の保健師は全体的に使命感が高いことがわかった。目の前の業務に追われながらも地域に根ざした保健活動を遂行しようとする姿勢が伺われた。しかし、その反面、使命感が強いがゆえにストレスも高く、住民の健康を守る保健師の心身の健康管理こそが重要であり、特に現在も仮設住宅等に居住するなど避難履歴のある保健師に対するサポートは急務である。

日々、保健師を取り巻く国の制度や動向が変わる一方で長期に亘る被災者の健康支援、まちの復興など保健師に求められる業務は多様化しかつ複雑となっている。そのような中求められるのが人材確保と人材育成のシステム化、そして地域を俯瞰的に見ることや課題を整理すること、事業の優先順位についてスーパーバイズできる外部機関の支援も必要と思われる。

保健師自身や家庭の事情で中途退職した多くの保健師の思いは今回の調査に反映なかったが、今、被災地で奮闘している保健師たちのエンパワーメントにつながる結果を導き出す必要性が示唆された。

そこで、次年度は、職業性ストレスについて、全国標準との比較や職務満足感をも

たらしめている要因についての詳細な分析を行うとともに、現地での聞き取りを行い、被災地における保健活動の課題を深め、対応の方向性を検討していきたい。

7 参考文献

- [1] 奥田博子,然災害時における保健師の役割.保健医療学,57(3),2008.213-219.
- [2] 齋藤澄子,浦橋久美子,白木裕子,中原夏美,鈴木貴恵,下田礼子,永井美登利,松本敦子.A
県保健所および市町村における災害時保健師活動の実態と課題—東日本大震災後
の調査から—.茨城キリスト教大学看護学部紀要,5(1).2013.13-21.
- [3] 松本珠実,分担事業者.平成 24 年度地域保健総合推進事業「東日本大震災における
保健師活動の実態とその課題」報告書.2013.
- [4] 古本尚樹.宮城県七ヶ浜町保健師等への聞き取りからみる東日本大震災被災地の現
状と課題.日本プライマリ・ケア連合学会誌,37(1).2014.27-32.
- [5] 山田晴美,久住真理,吉田浩子,大東俊一,青木清.東日本大震災の災害支援活動に派遣
された保健師の心身の健康に関する調査.心身健康科学,9(1).2013.26-36.
- [6] 青木実枝,三澤寿美,鎌田美千子,新野美紀,川村良子.災害時ヘルスケアニーズに対す
る保健師の役割意識.山形保健医療研究,9,2006.1-10.
- [7] 小林恵子,三澤寿美,駒形ユキ子,田中浩之,大岡花巳,白倉透規,桑原孝子,長部タミ,渡
邊良弘.災害支援活動を行った看護職者のストレス反応と関連要因.日本災害看護
学会誌,12(3).2011.47-57.
- [8] 厚生労働省,平成 26 年度衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況,
- [9] 平成 23 年度「妊産婦に関する調査」フォローアップ調査結果報告,第 24 回「県
民健康調査」検討委員会資料.福島県,2016.9.14
- [10] 川上憲人,下光輝一,島津明人,原谷隆史,堤明純,吉川徹,平成 21-23 年度厚生労働
科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)労働者のメンタルヘルス不調の
第一次予防の浸透方法に関する調査研究,2012

資料編

岩手県・宮城県・福島県
統括保健師 様

平成28年度全国保健師長会調査研究事業

研究代表者 中島誠子(全国保健師長会福島県支部)

「災害後の保健師活動における現状と課題」調査協力をお願い

日頃よりお世話になっております。

さて、このたび全国保健師長会では東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県の被災市町村の保健活動の状況について調査を行うこととしました。

東日本大震災から5年が経過した今、長期化する避難者支援活動と併せ、通常業務も行わなければならないといった状況から、被災市町村保健師の保健活動への影響や精神的な負担についての現状を調査し、災害後支援のありかたについて検討することとしております。

つきましては、お忙しい中恐縮とは存じますが、下記のとおりご協力をいただきたく、よろしく願いいたします。

記

調査目的：東日本大震災被災市町村の現在の保健師のおかれている職場や生活環境、保健師活動の実際とあるべき姿とのギャップ、保健師活動に対する思いなどの実態を明らかにすることを目的とします。

調査対象：震災被害は2011.3.11の「東日本大震災」とし、被災三県（岩手県、宮城県、福島県）で地震及び津波被害、あるいは東京電力福島原子力発電所事故により避難指示区域となった市町村の保健福祉分野で活動する統括保健師及び保健師。

※保健師は市町村正規雇用の保健師とする。

調査内容：

- ・統括保健師調査（調査A）：市町村の保健師の状況、保健師活動体制、保健福祉関係事業実施状況、保健活動等の課題等
(統括保健師が明確でない場合は、「準ずる者」として、保健福祉分野で職位の上の者とする。)
- ・保健師調査（調査B）：自身の避難状況、保健活動の課題や推進すべきこと、メンタルの状態等

※統括保健師については調査A・B両方にご回答いただくこととなります。なお、調査Bの用紙が不足する場合は問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

調査方法：市町村毎に送付した自記式調査票を調査対象に配布いただきご回答ください。回答した調査票は各自で個別に封筒に入れた上で、統括保健師がまとめていただき、郵送にて所定の宛先に平成28年12月16日までに返送をお願い

いたします。

※宛先：〒963-8024 郡山市朝日二丁目 15-1

郡山市保健所総務課 保健師・助産師・看護師支援係 斎藤恵子

調査期間：平成28年11月～12月

データの取り扱い：アンケート調査への回答は任意です。アンケートを回答する、しないは自由であり、回答されなくても不利益を被ることは一切ありませんので、貴自治体保健師のアンケートの回収にあたっては、個人の意志を尊重してください。アンケートの集計は統計的・集約的に処理を行い、得られた情報はこの調査以外に使用しません。

結果公表：集計結果は報告書にまとめ、ご協力いただいた市町村を始め全国保健師長会会員にご報告する他、学会報告などを予定しています。

実施者：

研究代表者：中島誠子（福島県相双保健福祉事務所）

メンバー：遠藤智子（福島県保健福祉部健康増進課） 古山綾子（福島県相双保健福祉事務所いわき出張所） 斎藤恵子（郡山市保健所） 吉野優子（いわき市） 山田祐子（南相馬市）

アドバイザー：後藤あや（福島県立医科大学） 松本珠実（国立保健医療科学院）

問合せ先：ご不明な点が生じた場合は、下記調査担当者までご連絡ください。

中島誠子：福島県相双保健福祉事務所 健康福祉部健康増進課

TEL:0244-26-1331 Email:nakajima_seiko_01@pref.fukushima.lg.jp

斎藤恵子：福島県郡山保健所 総務課

TEL:024-924-2120 Email:saitou-keiko-a@city.koriyama.fukushima.jp

山田祐子：福島県南相馬市役所 男女共同こども課

TEL:0244-24-5215 Email:yamada-y@city.minamisoma.lg.jp

調査A

災害後の保健師活動における現状と課題調査

- ◆この調査票は保健師の統括の方がお答えください。「統括保健師」
 が決まっていない場合は、「統括に準ずる者」あるいは「保健活動分野の職位の高い方」
 がお答えください◆

県・市町村名	() 県 () 市町村	人口 (H28.10.1現在)	人
回答者 (統括保健師)	所属 :		氏名 :
	連絡先 (Tel) — —		
	Email :		

1 保健師数と行政保健師経験年数別保健師数

貴市町村の保健師等の採用状況について各々当てはまる欄に人数をお書きください。

(1) 保健福祉分野に所属している保健医療職数 (H28.10.1現在) (人)

	保健師	看護師	助産師	准看護師	栄養士	歯科衛生士	OT・PT・ST
正 規							
派 遣 任 期 付							
臨 時 嘱 託							
合 計							

(2) 保健師の震災後の (H23.4~H28.10) 正規雇用保健師雇用、退職の状況

震災後の雇用数	人
震災後の退職者数	人 (うち停年退職 人、中途退職 人)

(3) 正規雇用保健師の現在勤務する自治体における勤務年数分布 (H28.10.1現在)

5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20年以上
人	人	人	人

2 保健師活動体制

貴市町村の保健分野の活動体制について、あてはまる番号に○をつけてください。(1
 つに○)

1 地区分担制	2 業務分担制	3 地区分担と業務分担の併用
4 その他 ()		

3 貴市町村内の保健師間で保健師活動についての話合いの場はありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

1 組織横断的に定期実施	2 組織横断的に不定期実施
3 業務担当毎に実施	4 特になし
5 その他 ()	

4 保健師の人材育成の現状についてお尋ねします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 人材育成のための研修(Off-JT)はありますか。 1 ある 2 ない

(2) 人材育成のためのガイドラインはありますか。 1 ある 2 ない

(3) 新任期育成のためのプリセプター制度はありますか。 1 ある 2 ない

5 統括の立場から、貴市町村の保健師活動における課題、推進すべきと考えること各々優先順位をつけて各20字以内で3つまでお書きください。

(1) 課題と考えていること

1																			
2																			
3																			

(2) 推進すべきと考えていること

1																			
2																			
3																			

次ページに続く

- 6 「母子保健福祉」「障がい者保健福祉」「健康づくり」「高齢・介護」の各分野について、表のA欄、B欄について各々優先すべき事業を3つ選び、空欄に○をつけてください。
 ※ 各分野について、該当する項目がないときは空欄に項目名称をお書きください。

【母子保健事業】

A 優先して実施している事業		B 本来優先すべきと考える事業	
<input type="checkbox"/>	①母子（親子）健康手帳交付	<input type="checkbox"/>	①母子（親子）健康手帳交付
<input type="checkbox"/>	②妊婦健康診査事業	<input type="checkbox"/>	②妊婦健康診査事業
<input type="checkbox"/>	③両親学級	<input type="checkbox"/>	③両親学級
<input type="checkbox"/>	④産後ケア事業	<input type="checkbox"/>	④産後ケア事業
<input type="checkbox"/>	⑤乳幼児全戸訪問事業	<input type="checkbox"/>	⑤乳幼児全戸訪問事業
<input type="checkbox"/>	⑥食育推進事業	<input type="checkbox"/>	⑥食育推進事業
<input type="checkbox"/>	⑦授乳支援事業	<input type="checkbox"/>	⑦授乳支援事業
<input type="checkbox"/>	⑧児童虐待対応・支援	<input type="checkbox"/>	⑧児童虐待対応・支援
<input type="checkbox"/>	⑨妊産婦訪問指導事業	<input type="checkbox"/>	⑨妊産婦訪問指導事業
<input type="checkbox"/>	⑩乳幼児健康診査事業	<input type="checkbox"/>	⑩乳幼児健康診査事業
<input type="checkbox"/>	⑪予防接種	<input type="checkbox"/>	⑪予防接種
<input type="checkbox"/>	⑫育児不安対策事業	<input type="checkbox"/>	⑫育児不安対策事業
<input type="checkbox"/>	⑬思春期保健対策事業	<input type="checkbox"/>	⑬思春期保健対策事業
<input type="checkbox"/>	⑭療育支援事業（発達支援事業）	<input type="checkbox"/>	⑭療育支援事業（発達支援事業）
<input type="checkbox"/>	⑮	<input type="checkbox"/>	⑮
<input type="checkbox"/>	⑯	<input type="checkbox"/>	⑯

【障がい者保健福祉対策】

A 優先して実施している事業		B 本来優先すべきと考える事業	
<input type="checkbox"/>	①障害者総合支援法の利用調整	<input type="checkbox"/>	①障害者総合支援法の利用調整
<input type="checkbox"/>	②障がい者保健福祉相談及び訪問指導	<input type="checkbox"/>	②障がい者保健福祉相談及び訪問指導
<input type="checkbox"/>	③自殺予防対策等事業	<input type="checkbox"/>	③自殺予防対策等事業
<input type="checkbox"/>	④障がい者虐待対応・支援	<input type="checkbox"/>	④障がい者虐待対応・支援
<input type="checkbox"/>	⑤	<input type="checkbox"/>	⑤
<input type="checkbox"/>	⑥	<input type="checkbox"/>	⑥

【健康づくり事業】

A 優先して実施している事業		B 本来優先すべきと考える事業	
①健康推進事業（健康手帳の交付・健康教育・健康相談）		①健康推進事業（健康手帳の交付・健康教育・健康相談）	
②健康診査・各種がん検診		②健康診査・各種がん検診	
③成人検診・各種がん検診・特定健診受診率向上		③成人検診・各種がん検診・特定健診受診率向上	
④歯周病疾患検診		④歯周病疾患検診	
⑤食生活改善推進員育成事業		⑤食生活改善推進員育成事業	
⑥骨粗鬆症検診		⑥骨粗鬆症検診	
⑦肝炎ウイルス検診		⑦肝炎ウイルス検診	
⑧たばこ対策事業		⑧たばこ対策事業	
⑨地域歯科保健推進事業		⑨地域歯科保健推進事業	
⑩食育の推進		⑩食育の推進	
⑪女性の健康づくり事業		⑪女性の健康づくり事業	
⑫		⑫	
⑬		⑬	

【高齢・介護対策】

A 優先して実施している事業		B 本来優先すべきと考える事業	
①特定健康診査・特定保健指導		①特定健康診査・特定保健指導	
②健康診査・各種がん検診		②健康診査・各種がん検診	
③歯周疾患検診		③歯周疾患検診	
④骨粗鬆症検診		④骨粗鬆症検診	
⑤介護予防支援事業		⑤介護予防支援事業	
⑥肝炎ウイルス検診		⑥肝炎ウイルス検診	
⑦権利擁護（介護・高齢者虐待）		⑦権利擁護（介護・高齢者虐待）	
⑧包括的・ケアマネジメント事業		⑧包括的・ケアマネジメント事業	
⑨地域歯科保健対策推進事業		⑨地域歯科保健対策推進事業	
⑩認知症総合支援事業		⑩認知症総合支援事業	
⑪医療介護連携推進事業		⑪医療介護連携推進事業	
⑫生活支援体制整備事業		⑫生活支援体制整備事業	
⑬地域ケア会議推進事業		⑬地域ケア会議推進事業	
⑭		⑭	
⑮		⑮	

7 事業の優先順位はどのように決めて実施していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

- 1 地域診断等データ分析によって決定している
- 2 市町村の各種保健計画に基づき実施している
- 3 市町村の方針として決定している
- 4 従来から実施しているので継続している
- 5 その他 ()

8 「A 貴市町村が優先的に実施している事業」と「B 本来優先して実施すべきと考える事業」にギャップがある場合、その理由として考えられるものを選び、あてはまる番号に○をつけてください(複数回答可)

- 1 市町村内で意思統一ができない
- 2 避難者支援等他の業務に追われ通常業務ができない
- 3 その他 ()

ご協力いただき、ありがとうございました。

なお、次年度 2 次調査としてインタビュー調査等を計画しております。ご協力いただける場合は、下欄に○をご記入ください。

岩手県・宮城県・福島県
市町村保健師 各位

平成28年度全国保健師長会調査研究事業

研究代表者 中島誠子(全国保健師長会福島県支部)

「災害後の保健師活動における現状と課題」調査協力をお願い

日頃よりお世話になっております。

さて、このたび全国保健師長会では東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県の被災市町村の保健活動の状況について調査を行うこととしました。

東日本大震災から5年が経過した今、長期化する避難者支援活動と併せ、通常業務も行わなければならないといった状況から、被災市町村保健師の保健活動への影響や精神的な負担についての現状を調査し、災害後支援のありかたについて検討することとしております。

つきましては、お忙しい中恐縮とは存じますが、ご協力をいただきたく、よろしく願いいたします。

記

調査目的：東日本大震災被災市町村の現在の保健師のおかれている職場や生活環境、保健師活動の実際とあるべき姿とのギャップ、保健師活動に対する思いなどの実態を明らかにする。

調査対象：震災被害は2011.3.11の「東日本大震災」とし、被災三県（岩手県、宮城県、福島県）で地震及び津波被害、あるいは東京電力福島原子力発電所事故により避難指示区域となった市町村の保健福祉分野で活動する統括保健師及び保健師。

※保健師は市町村正規雇用の保健師とする。

調査内容：

- ・統括保健師調査（調査A）：市町村の保健師の状況、保健師活動体制、保健福祉関係事業実施状況、保健活動等の課題等
(統括保健師が明確でない場合は、「準ずる者」として、保健福祉分野で職位の上の者とする。)
- ・保健師調査（調査B）：自身の避難状況、保健活動の課題や推進すべきこと、メンタルの状態

調査方法：市町村毎に送付した自記式調査票にご回答ください。回答時間は10分程度を見込んでいます。回答した調査票は個別に封筒に入れた上で、統括保健師にお渡しください。なお、統括保健師からは、平成28年12月16日までにまとめた調査票を返送していただくこととしております。

調査期間：平成28年11月～12月

データの取り扱い：アンケート調査への回答は任意です。アンケートを回答する、しないは自由であり、回答されなくても不利益を被ることは一切ありません。アンケートは無記名であり、個人が特定されることはありません。アンケートの集計は統計的・集約的に処理を行い、得られた情報はこの調査以外に使用しません。

結果公表：集計結果は報告書にまとめ、ご協力いただいた市町村を始め全国保健師長会会員にご報告する他、学会報告などを予定しています。

実施者：

研究代表者：中島誠子（福島県相双保健福祉事務所）

メンバー：遠藤智子（福島県保健福祉部健康増進課） 古山綾子（福島県相双保健福祉事務所いわき出張所） 斎藤恵子（郡山市保健所） 吉野優子（いわき市） 山田祐子（南相馬市）

アドバイザー：後藤あや（福島県立医科大学） 松本珠実（国立保健医療科学院）

問合せ先：ご不明な点が生じた場合は、下記調査担当者までご連絡ください。

中島誠子：福島県相双保健福祉事務所 健康福祉部健康増進課

TEL:0244-26-1331 Email:nakajima_seiko_01@pref.fukushima.lg.jp

斎藤恵子：福島県郡山保健所 総務課

TEL:024-924-2120 Email:saitou-keiko-a@city.koriyama.fukushima.jp

山田祐子：福島県南相馬市役所 男女共同こども課

TEL:0244-24-5215 Email:yamada-y@city.minamisoma.lg.jp

調査B

災害後の保健師活動における現状と課題調査

◆このシートは保健師の方お一人ずつお答えください◆

- 1 現在の所属自治体についてお答えください。県名に○をつけて、差し支えなければ市町村名を（ ）にお書きください。

1. 岩手県（ ） 2. 宮城県（ ） 3. 福島県（ ）

- 2 保健福祉分野での保健師としての行政経験年数について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～20年未満 4. 20年以上

- 3 年齢について、あてはまる番号に○を付けてください。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代

- 4 東日本大震災時から現在までの避難状況についてお伺いします。

(1) 現在避難生活をしていますか。あてはまる番号に○を付けてください。(1つに○)

1. 現在避難中で仮設・借上住宅で生活している。
2. 震災前とは違う場所に住宅を構えて生活している。
3. 避難生活をしてきた時期があるが、現在は自宅で生活している。
4. 避難していたことはない。

以下は(1)の1.または2.と答えた方のみお答えください。

(2) 避難生活のため、震災前に同居していた家族とは離れて生活していますか。

1. はい 2. いいえ

(3) (2)の1.の場合、離れている家族とコミュニケーションはとれていますか。

1. はい 2. いいえ

- 5 あなたはふだんご自分で健康だと思いますか。あてはまる番号に○を付けてください。(1つに○)

1. 非常に健康だと思う 2. まあ健康なほうだと思う
3. あまり健康ではない 4. 健康ではない

6 ここ最近1ヶ月間、気分が落ち込んだり、憂鬱な気持ちになったりすることがよくありましたか。あてはまる番号に○を付けてください。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

7 ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか。あてはまる番号に○を付けてください。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

8 あなたの現在の主担当業務について、あてはまる番号に○を付けてください。(1つに○)

1. 母子保健福祉	2. 健康づくり	3. 障がい者福祉	4. 高齢・介護
5. その他()			

9 現在あなたが保健活動で課題だと強く感じていることを3つまで、各20字以内でお書きください。

1																			
2																			
3																			

10 現在あなたが保健活動で推進すべきと強く感じていることを3つまで、各20字以内でお書きください。

1																			
2																			
3																			

11 現在あなたの職業性ストレスの状況についてお聞きします。次の(1)～(10)の設問について、下記の4段階のうち、あてはまる番号に○を付けてください。

1: そうだ	2: まあそうだ	3: ややちがう	4: ちがう
--------	----------	----------	--------

(1) 仕事は満足だ。	1	2	3	4
(2) 感情面で負担になる仕事だ。	1	2	3	4
(3) 複数の人からお互いに矛盾したことを要求される。	1	2	3	4
(4) 自分の職務や責任が何かであるか分かっている。	1	2	3	4

(5) 仕事で自分の長所をのばす機会がある。	1	2	3	4
(6) 上司は、部下が能力をのばす機会を持てるように、取り計らってくれる。	1	2	3	4
(7) 上司は誠実な態度で対応してくれる。	1	2	3	4
(8) 意欲を引き出したり、キャリアに役立つ教育が行われている。	1	2	3	4
(9) 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている。	1	2	3	4
(10) 自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4

1: そうだ 2: まあそうだ 3: ややちがう 4: ちがう

ご協力ありがとうございました。

【資料編】

統括保健師に対する調査

1. 回答率

対象自治体数	回答自治体数	回答率(%)
42	32	76.2

2. 県別割合

県名	回答自治体数	割合
岩手県	9	28.1
宮城県	13	40.6
福島県	10	31.3
総計	32	100.0

3. 人口別割合

人口	岩手県		宮城県		福島県		総計	
	自治体数	%	自治体数	%	自治体数	%	自治体数	%
1万人未満	2	22.2	1	7.7	4	40.0	7	21.9
1万人～3万人	3	33.3	4	30.8	3	30.0	10	31.3
3万人～5万人	3	33.3	4	30.8	1	10.0	8	25.0
5万人～10万人	1	11.1	3	23.1	1	10.0	5	15.6
10万人以上		0.0	1	7.7	1	10.0	2	6.3
総計	9	100.0	13	100.0	10	100.0	32	100.0

4. 保健師の人数

人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人	計
3	2					2
5	1					1
7	1	1				2
8	1					1
9	1	4	1			6
10		2				2
11		3				3
13	1		1			2
15			1			1
16			1			1
17			1			1
20			1			1
21				2		2
22			1	1		2
23				1		1
25				1		1
26			1		1	2
59					1	1
総計	7	10	8	5	2	32

5. 保健師一人当たりの人口

①正規職員のみ

一人当たりの人口\自治体人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
千人未満	2					2
千～2千	3	8				11
2千人～3千人	2	2	4	2		10
3千人～4千人			3	2		5
4千人～5千人			1	1		2
5千人以上					2	2
総計	7	10	8	5	2	32

②保健師全員(任期付等を含む)

一人当たりの人口\自治体人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
千人未満	5					5
千～2千	2	9	2			13
2千人～3千人		1	5	4		10
3千人～4千人				1		1
4千人～5千人			1			1
5千人以上					2	2
総計	7	10	8	5	2	32

6. 保健福祉分野に所属する保健医療職数

①看護師						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0	5	5	2	1		13
1	1		1	2	1	7
2		1	2			3
4	1	2	1	1		5
5				1		1
6		1	1			2
10					1	1
総計	7	10	8	5	2	32

②助産師						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0	6	9	5	2	1	23
1	1	1		2	1	5
2			2	1		3
3			1			1
総計	7	10	8	5	2	32

③准看護師						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0	7	7	5	5	2	26
1		1	2			3
2		1	1			2
3		1				1
総計	7	10	8	5	2	32

④栄養士						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0	2	1				3
1	3	2	2			7
2	2	3		1		6
3		2	2	1		5
4		1	1	2		4
5		1			2	3
6				2		2
7			1	1		2
総計	7	10	8	5	2	32

⑤歯科衛生士						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0	5	9	3	2		19
1	2	1	2	1		6
2			1	1	2	4
3			1	1		2
4			1			1
総計	7	10	8	5	2	32

⑥OTPTST						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0	7	9	7	4	1	28
1		1	1		1	3
3				1		1
総計	7	10	8	5	2	32

7. 震災後の雇用数						
人数\人口	1万人未満	1万人～3万人	3万人～5万人	5万人～10万人	10万人～	総計
0		1	1			2
1	3	1	2			6
2	1	2	3			6
3	1	3	1			5
4	1	1		2		4
5	1					1
7		1	1			2
8		1		1		2
10				1		1
11				1		1
20					1	1
(空白)					1	1
総計	7	10	8	5	2	32

8. 震災後の雇用人数			
岩手県	宮城県	福島県	全体
43	41	41	125

9. 震災後の退職者数								
	岩手県		宮城県		福島県		全体	
定年退職	8	25.0	6	25.0	12	33.3	26	28.3
中途退職	24	75.0	18	75.0	24	66.7	66	71.7
計	32	100.0	24	100.0	36	100.0	92	100.0

10. 勤務年数別分布								
	岩手県		宮城県		福島県		全体	
5年未満	33	30.6	36	24.5	34	29.3	103	27.8
5年～10年	21	19.4	21	14.3	11	9.5	53	14.3
10年～20年	21	19.4	37	25.2	27	23.3	85	22.9
20年以上	33	30.6	53	36.1	44	37.9	130	35.0
計	108	100.0	147	100.0	116	100.0	371	100.0

11. 保健師活動体制								
	岩手県		宮城県		福島県		総計	
地区分担制	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
業務分担制	1	11.1	2	15.4	1	10.0	4	12.5
併用	7	77.8	11	84.6	9	90.0	27	84.4
その他	1	11.1		0.0		0.0	1	3.1
総計	9	100.0	13	100.0	10	100.0	32	100.0

12. 保健師間での話し合い(複数回答可)								
	岩手県		宮城県		福島県		総計	
組織横断的対応	4	44.4	4	30.8	4	40.0	12	37.5
組織横断不足	2	22.2	6	46.2	4	40.0	12	37.5
業務ごと	3	33.3	5	38.5	1	10.0	9	28.1
なし		0.0	2	15.4	1	10.0	3	9.4
その他	2	22.2		0.0	1	10.0	3	9.4
総計	11		17		11		39	

13. 保健師の人材育成								
①ガイドラインの有無								
	岩手県		宮城県		福島県		総計	
ある	2	22.2	1	7.7	1	10.0	4	12.5
ない	7	77.8	12	92.3	9	90.0	28	87.5
総計	9	100.0	13	100.0	10	100.0	32	100.0

②プリセプターの有無								
	岩手県		宮城県		福島県		総計	
ある	2	25.0	5	38.5	2	20.0	9	29.0
ない	6	75.0	8	61.5	8	80.0	22	71.0
総計	8	100.0	13	100.0	10	100.0	31	100.0

14. 優先している事業と優先すべき事業の一致数								
①母子保健事業								
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計	
0		0		0	3	30.0	3	10.3
1	1	16.7		0.0	1	10.0	2	6.9
2	1	16.7	4	30.8	4	40.0	9	31.0
3	4	66.7	9	69.2	2	20.0	15	51.7
総計	6	100.0	13	100.0	10	100.0	29	100.0

②障がい者保健福祉対策								
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計	
0		0		0	1	12.5	1	3.6
1		0	2	16.7	2	25.0	4	14.3
2	1	12.5	5	41.7	1	12.5	7	25.0
3	7	87.5	5	41.7	4	50.0	16	57.1
総計	8	100	12	100.0	8	100.0	28	100.0

③健康づくり								
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計	
0	1	12.5		0.0	2	20.0	3	9.7
1		0	1	7.7		0.0	1	3.2
2		0	1	7.7	2	20.0	3	9.7
3	7	87.5	11	84.6	6	60.0	24	77.4
総計	8	100	13	100.0	10	100.0	31	100.0

④高齢・介護対策								
一致数	岩手県		宮城県		福島県		総計	
0		0.0		0.0	2	20.0	2	6.5
1	2	25.0	2	15.4		0.0	4	12.9
2		0.0	7	53.8	3	30.0	10	32.3
3	6	75.0	4	30.8	5	50.0	15	48.4
総計	8	100.0	13	100.0	10	100.0	31	100.0

15. 優先している事業と優先すべき事業(3つまで選択)

①母子保健事業

事業名	している	すべき
①母子(親子)健康手帳交付	5	5
②妊婦健康診査事業	2	2
③両親学級	0	
④産後ケア事業	0	1
⑤乳幼児全戸訪問事業	21	14
⑥食育推進事業	2	3
⑦授乳支援事業	0	
⑧児童虐待対応・支援	6	8
⑨妊産婦訪問指導事業	5	5
⑩乳幼児健康診査事業	22	15
⑪予防接種	5	1
⑫育児不安対策事業	8	11
⑬思春期保健対策事業	1	4
⑭療育支援事業(発達支援事業)	9	9

②障がい者保健福祉対策

事業名	している	すべき
①障害者総合支援法の利用調整	15	13
②障がい者保健福祉相談及び訪問指	24	23
③自殺予防対策等事業	22	26
④障がい者虐待対応・支援	10	9

③健康づくり

事業名	している	すべき
①健康推進事業(健康手帳の交付・俵)	21	21
②健康診査・各種がん検診	13	10
③成人検診・各種がん検診・特定健	25	25
④歯周病疾患検診		
⑤食生活改善推進員育成事業	2	2
⑥骨粗鬆症検診		
⑦肝炎ウイルス検診		
⑧たばこ対策事業		
⑨地域歯科保健推進事業	4	3
⑩食育の推進	11	13
⑪女性の健康づくり事業	1	
⑫生活習慣病予防	9	10

④高齢・介護対策

事業名	している	すべき
①特定健康診査・特定保健指導	9	8
②健康診査・各種がん検診	8	5
③歯周疾患検診	0	
④骨粗鬆症検診	0	
⑤介護予防支援事業	23	22
⑥肝炎ウイルス検診	0	
⑦権利擁護(介護・高齢者虐待)	7	5
⑧包括的・ケアマネジメント事業	11	9
⑨地域歯科保健対策推進事業	2	1
⑩認知症総合支援事業	12	17
⑪医療介護連携推進事業	5	5
⑫生活支援体制整備事業	9	10
⑬地域ケア会議推進事業	4	7

16. 優先順位の決め方

	岩手県		宮城県		福島県		総計	
地区診断		0.0	6	50.0	3	30.0	9	29.0
保健計画	6	66.7	4	33.3	6	60.0	16	51.6
方針	2	22.2	1	8.3		0.0	3	9.7
従来	1	11.1	1	8.3		0.0	2	6.5
その他		0.0		0.0	1	10.0	1	3.2
総計	9	100.0	12	100.0	10	100.0	31	100.0

17. ギャップの理由

	岩手県	宮城県	福島県	総計
意志統一でき	1	4	1	6
避難者支援		2	1	3
その他	3	4	4	11
総計	4	10	6	20

※その他

- ・ギャップはない
- ・地区診断ができない
- ・既存事業をやめることができない
- ・マンパワー不足

18. 課題に感じていること(自由記載)							
①出現数の多い言葉							
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
保健	17	健康	5	追う	3	対応	2
活動	15	評価	5	不十分	3	対策	2
業務	12	共有	4	解消	2	担当	2
人材	11	計画	4	機会	2	中堅	2
育成	10	多い	4	向ける	2	統括	2
組織	8	ケース	3	行う	2	把握	2
地区	8	パワー	3	仕事	2	被災	2
配置	8	マン	3	子育て	2	部署	2
課題	7	横断	3	場	2		
困難	7	確保	3	情報	2		
事業	7	見える	3	人員	2		
分散	7	支援	3	推進	2		
地域	6	全体	3	整理	2		
不足	6	体制	3	増加	2		
19. 推進すべきと考えること(自由記載)							
①出現数の多い言葉							
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
保健	19	充実	5	話し合い	3	徹底	2
育成	13	強化	4	コミュニティ	2	被災	2
活動	13	健康	4	家庭	2	包括	2
人材	12	診断	4	介護	2	理解	2
地域	9	体制	4	確保	2		
連携	9	配置	4	関係	2		
事業	8	評価	4	機関	2		
推進	8	予防	4	業務	2		
組織	8	サイクル	3	個別	2		
横断	7	基づく	3	構築	2		
共有	7	教育	3	行う	2		
課題	6	順位	3	住民	2		
支援	6	情報	3	重点	2		
地区	6	部署	3	場	2		
計画	5	優先	3	図る	2		

保健師に対する調査

1. 回答率

対象者数	回答者数	回答率(%)
483	305	63.1

2. 県別

県名	人数	%
岩手県	100	32.8
宮城県	134	43.9
福島県	71	23.3
総計	305	100.0

3. 行政経験年数

	5年未満		5～10		10～20		20年以上		計
岩手県	24	24.0	22	22.0	21	21.0	33	33.0	100
宮城県	26	19.4	17	12.7	48	35.8	43	32.1	134
福島県	16	22.5	9	12.7	12	16.9	34	47.9	71
総計	66	21.6	48	15.7	81	26.6	110	36.1	305

4. 年齢

	20代		30代		40代		50代以上		計
岩手県	18	18.0	38	38.0	17	17.0	27	27.0	100
宮城県	19	14.2	48	35.8	46	34.3	21	15.7	134
福島県	13	18.3	11	15.5	18	25.4	29	40.8	71
総計	50	16.4	97	31.8	81	26.6	77	25.2	305

5. 避難状況

①現在の避難生活

	仮設・借上げ		震災前とは違う場所に新築		避難したが、今は自宅		避難したことはない		計
岩手県	3	3.0	13	13.0	11	11.0	73	73.0	100
宮城県	1	0.7	17	12.7	13	9.7	103	76.9	134
福島県	10	14.1	6	8.5	9	12.7	46	64.8	71
総計	14	4.6	36	11.8	33	10.8	222	72.8	305

②避難履歴

	避難有		避難なし		総計
岩手県	27	27.0	73	73.0	100
宮城県	31	23.1	103	76.9	134
福島県	25	35.2	46	64.8	71
総計	83	27.2	222	72.8	305

6. 自分は健康だと思うか

①県別

	非常に健康		まあ健康		あまり健康でない		健康ではない		無回答		計
岩手県	6	6.0	80	80.0	10	10.0	3	3.0	1	1.0	100
宮城県	4	3.0	111	82.8	19	14.2		0.0			134
福島県	2	2.8	56	78.9	9	12.7	4	5.6			71
総計	12	3.9	247	81.0	38	12.5	7	2.3	1	0.3	305

②行政経験年数別

	非常に健康		まあ健康		あまり健康でない		健康ではない		無回答		総計
5年未満	4	6.1	57	86.4	4	6.1	1	1.5			66
5～10	4	8.3	35	72.9	8	16.7	1	2.1			48
10～20	2	2.5	66	81.5	8	9.9	4	4.9	1	1.2	81
20年以上	2	1.8	89	80.9	18	16.4	1	0.9			110
総計	12	3.9	247	81.3	38	12.5	7	2.3	1	0.3	305

③年代別

	非常に健康		まあ健康		あまり健康でない		健康ではない		無回答		総計
20代	4	8.0	40	80.0	5	10.0	1	2.0			50
30代	4	4.1	76	78.4	13	13.4	3	3.1	1	1.0	97
40代	3	3.7	65	80.2	11	13.6	2	2.5			81
50代以上	1	1.3	66	85.7	9	11.7	1	1.3			77
総計	12	3.9	247	81.0	38	12.5	7	2.3	1	0.3	305

③避難状況別

行レベル	非常に健康		まあ健康		あまり健康でない		健康ではない		無回答		総計
仮設・借上げ	1	7.1	9	64.3	3	21.4		0.0	1	7.1	14
新築	3	8.3	25	69.4	7	19.4	1	2.8			36
避難後自宅	1	3.0	26	78.8	3	9.1	3	9.1			33
避難ない	7	3.2	187	84.2	25	11.3	3	1.4			222
総計	12	3.9	247	81.0	38	12.5	7	2.3	1	0.3	305

④避難履歴	非常に健康		まあ健康		あまり健康でない		健康ではない		無回答		総計
避難履歴あり	5	6.0	60	72.3	13	15.7	4	4.8	1	1.2	83
避難ない	7	3.2	187	84.2	25	11.3	3	1.4			222
計	12	3.9	247	81.0	38	12.5	7	2.3	1	0.3	305

6. 気分が落ち込んだり、憂鬱な気持ちになるか。

①県別

	はい		いいえ		無回答		総計
岩手県	38	38.0	62	62.0		0.0	100
宮城県	58	43.3	74	55.2	2	1.5	134
福島県	28	39.4	42	59.2	1	1.4	71
総計	124	40.7	178	58.4	3	1.0	305

②行政経験年数別

	はい		いいえ		無回答		総計
5年未満	32	48.5	33	50.0	1	1.5	66
5～10	25	52.1	23	47.9		0.0	48
10～20	27	33.3	54	66.7		0.0	81
20年以上	40	36.4	68	61.8	2	1.8	110
総計	124	40.7	178	58.4	3	1.0	305

③年代別

	はい		いいえ		無回答		総計
20代	27	54.0	23	46.0		0.0	50
30代	42	43.3	54	55.7	1	1.0	97
40代	29	35.8	52	64.2		0.0	81
50代以上	26	33.8	49	63.6	2	2.6	77
総計	124	40.7	178	58.4	3	1.0	305

④避難状況別

	はい		いいえ		無回答		総計
仮設・借上げ	10	71.4	4	28.6		0.0	14
新築	18	50.0	18	50.0		0.0	36
避難後自宅	15	45.5	17	51.5	1	3.0	33
避難ない	81	36.5	139	62.6	2	0.9	222
総計	124	40.7	178	58.4	3	1.0	305

⑤避難履歴別

	はい		いいえ		無回答		総計
避難あり	43	51.8	39	47.0	1	1.2	83
避難ない	81	36.5	139	62.6	2	0.9	222
総計	124	40.7	178	58.4	3	1.0	305

7. 物事に興味がわかない

①県別

	はい		いいえ		無回答		総計
岩手県	26	26.0	74	74.0		0.0	100
宮城県	35	26.1	98	73.1	1	0.7	134
福島県	21	29.6	49	69.0	1	1.4	71
総計	82	26.9	221	72.5	2	0.7	305

②行政経験年数別

行ラベル	はい		いいえ		無回答		総計
5年未満	15	22.7	50	75.8	1	1.5	66
5～10	16	33.3	32	66.7		0.0	48
10～20	22	27.2	59	72.8		0.0	81
20年以上	29	26.4	80	72.7	1	0.9	110
総計	82	26.9	221	72.5	2	0.7	305

③年代別

行ラベル	はい		いいえ		無回答		総計
20代	13	26	37	74.0		0.0	50
30代	27	27.8	69	71.1	1	1.0	97
40代	20	24.7	61	75.3		0.0	81
50代以上	22	28.6	54	70.1	1	1.3	77
総計	82	26.9	221	72.5	2	0.7	305

④避難状況別

	はい		いいえ		無回答		総計
仮設・借上げ	7	50.0	7	50.0		0.0	14
新築	12	33.3	24	66.7	1	0.0	36
避難後自宅	10	30.3	23	69.7		0.0	33
避難ない	53	23.9	167	75.2	2	0.9	222
総計	82	26.9	221	72.5	2	0.7	305

⑤避難履歴別						
	はい		いいえ		無回答	総計
避難あり	29	34.9	54	65.1	0.0	83
避難ない	53	23.9	167	75.2	2	222
総計	82	26.9	221	72.5	2	305

8. うつ状態(6.7の項目で該当したかどうか)

①県別

	2項目該当		1項目該当		該当なし		無回答	総計
岩手県	20	20.0	24	24.0	56	56.0	0.0	100
宮城県	34	25.4	27	20.1	72	53.7	1	134
福島県	21	29.6	9	12.7	41	57.7	0.0	71
総計	75	24.6	60	19.7	169	55.4	1	305

②行政経過年数別

	2項目該当		1項目該当		該当なし		無回答	総計
5年未満	15	22.7	19	28.8	32	48.5	0.0	66
5～10	14	29.2	13	27.1	21	43.8	0.0	48
10～20	18	22.2	13	16.0	50	61.7	0.0	81
20年以上	28	25.5	15	13.6	66	60.0	1	110
総計	75	24.6	60	19.7	169	55.4	1	305

③年代別

	2項目該当		1項目該当		該当なし		無回答	総計
20代	13	26.0	14	28.0	23	46.0	0.0	50
30代	25	25.8	21	21.6	51	52.6	0.0	97
40代	16	19.8	17	21.0	48	59.3	0.0	81
50代以上	21	27.3	8	10.4	47	61.0	1	77
総計	75	24.6	59	19.3	169	55.4	1	305

④避難状況別

	2項目該当		1項目該当		該当なし		無回答	総計
仮設・借上げ	6	42.9	5	35.7	3	21.4	0.0	14
新築	11	30.6	8	22.2	17	47.2	0.0	36
避難後自宅	10	30.3	7	21.2	16	48.5	0.0	33
避難ない	48	21.6	40	18.0	133	59.9	1	222
総計	75	24.6	60	19.7	169	55.4	1	305

⑤避難履歴別

	2項目該当		1項目該当		該当なし		無回答	総計
避難あり	27	32.5	20	24.1	36	43.4	0.0	83
避難ない	48	21.6	40	18.0	133	59.9	1	222
総計	75	24.6	60	19.7	169	55.4	1	305

9. 主担当業務

事業名	人数	%
母子保健	98	32.1
健康づくり	90	29.5
障害者福祉	22	7.2
高齢介護	64	21.0
その他	41	13.4

10. 検定結果

①自分は健康だと思うか

経験年数	健康		健康でない		総計
10年未満	100	87.7	14	12.3	114
10年以上	159	83.7	31	16.3	190
	259	85.2	45	14.8	304

カイ二乗値 0.91986844
 p値 0.33750952
 結果 有意差無し
 解釈 「経験年数」と「健康観」には有意な関連はみられない

経験年数	健康		健康でない		総計
20年未満	168	86.6	26	13.4	194
20年以上	91	82.7	19	17.3	110
	259	85.2	45	14.8	304

カイ二乗値 0.83392498
 p値 0.36114003
 結果 有意差無し
 解釈 「経験年数」と「健康観」には有意な関連はみられない

年代	健康		健康でない		総計
30代以下	124	84.9	22	15.1	146
40代以上	135	85.4	23	14.6	158
	259	85.2	45	14.8	304

p値 0.9001474
 結果 有意差無し
 解釈 「年代」と「健康観」には有意な関連はみられない

避難履歴	健康		健康でない		総計
避難あり	65	79.3	17	20.7	82
避難なし	194	87.4	28	12.6	222
	259	85.2	45	14.8	304

カイ二乗値 3.12999286
 p値 0.07686408
 結果 有意差無し
 解釈 「避難」と「健康観」には有意な関連はみられない

②気分が落ち込んだり、憂鬱な気持ちになるか。										
経験年数	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	6.56852206				
10年未満	57	50.4	56	49.6	p値	0.01037981				
10年以上	67	35.4	122	64.6	結果	5%				
	124	41.1	178	58.9	解釈	「経験年数」と「気分の落ち込み」には(5%水準で)有意な関連がある				
経験年数	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	1.12410645				
20年未満	84	43.3	110	56.7	p値	0.28903594				
20年以上	40	37.0	68	63.0	結果	有意差無し				
	124	41.1	178	58.9	解釈	「経験年数」と「気分の落ち込み」には有意な関連はみられない				
年代	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	4.49039786				
30代以下	69	47.3	77	52.7	p値	0.03408574				
40代以上	55	35.3	101	64.7	結果	5%				
	124	41.1	178	58.9	解釈	「年代」と「気分の落ち込み」には(5%水準で)有意な関連がある				
避難履歴	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	6.02297				
避難あり	43	52.4	39	47.6	p値	0.01412086				
避難なし	81	36.8	139	63.2	結果	5%				
	124	41.1	178	58.9	解釈	「避難」と「気分の落ち込み」には(5%水準で)有意な関連がある				
③物事に興味がわかない										
経験年数	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	0.01256064				
10年未満	31	27.4	82	72.6	p値	0.91076451				
10年以上	51	26.8	139	73.2	結果	有意差無し				
	82	27.1	221	72.9	解釈	「経験年数」と「興味がわかない」には有意な関連はみられない				
経験年数	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	0.01802861				
20年未満	53	27.3	141	72.7	p値	0.89318856				
20年以上	29	26.6	80	73.4	結果	有意差無し				
	82	27.1	221	72.9	解釈	「経験年数」と「興味がわかない」には有意な関連はみられない				
年代	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	0.01597745				
30代以下	40	27.4	106	72.6	p値	0.89941377				
40代以上	42	26.8	115	73.2	結果	有意差無し				
	82	27.1	221	72.9	解釈	「年代」と「興味がわかない」には有意な関連はみられない				
避難履歴	はい		いいえ	総計	カイ二乗値	3.59339269				
避難あり	29	34.9	54	65.1	p値	0.0580097				
避難なし	53	24.1	167	75.9	結果	有意差無し				
	82	27.1	221	72.9	解釈	「避難」と「興味がわかない」には有意な関連はみられない				
④うつ傾向										
	あり		なし	総計	カイ二乗値	6.11952955				
10年未満	61	53.5	53	46.5	p値	0.01336964				
10年以上	74	38.9	116	61.1	結果	5%				
	135	44.4	169	55.6	解釈	「経験年数」と「うつ傾向」には(5%水準で)有意な関連がある				
	あり		なし	総計	カイ二乗値	1.69226015				
20年未満	92	47.2	103	52.8	p値	0.1933033				
20年以上	43	39.4	66	60.6	結果	有意差無し				
	135	44.4	169	55.6	解釈	「経験年数」と「うつ傾向」には有意な関連はみられない				
	あり		なし	総計	カイ二乗値	3.18025762				
30代以下	73	49.7	74	50.3	p値	0.07453298				
40代以上	62	39.5	95	60.5	結果	有意差無し				
	135	44.4	169	55.6	解釈	「年代」と「うつ傾向」には有意な関連はみられない				
	あり		なし	総計	カイ二乗値	6.90446121				
避難あり	47	56.6	36	43.4	p値	0.00859809				
避難なし	88	39.8	133	60.2	結果	1%				
	135	44.4	169	55.6	解釈	「避難」と「うつ傾向」には(1%水準で)有意な関連がある				

11. 課題と考えていること

①出現数の多い言葉

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
保健	84	分散	18	評価	12	少ない	9	低い	7	低下	6
地域	71	育成	17	コミュニティ	11	情報	9	認知	7	分析	6
業務	46	関係	16	介護	11	診断	9	発達	7	理解	6
活動	39	機関	16	共有	11	家族	8	問題	7	ケア	5
不足	38	仕事	15	震災	11	確保	8	スキル	6	医療	5
支援	37	時間	15	対応	11	災害	8	ニーズ	6	育児	5
連携	36	習慣	15	能力	11	自分	8	感じる	6	共通	5
健康	32	人	15	把握	11	診る	8	機会	6	健	5
住民	29	パワー	14	分担	11	家庭	7	虐待	6	行う	5
事業	28	人材	14	希薄	10	環境	7	形成	6	行政	5
予防	26	必要	14	困難	10	見える	7	重症	6	市民	5
多い	25	母子	14	指導	10	個別	7	出る	6	受診	5
課題	23	マン	13	訪問	10	構築	7	世代	6	順位	5
地区	22	増加	13	意識	9	職種	7	成人	6	障る	5
配置	20	被災	13	計画	9	人員	7	整理	6	精神	5
生活	19	ケース	12	向上	9	全体	7	多様	6		
事務	18	高齢	12	十分	9	対策	7	担当	6		

12. 推進すべきと考えていること(自由記載)

①出現数の多い言葉

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
地域	81	母子	17	重症	10	診る	8	機会	5	家族	4
保健	58	育成	14	人	10	対応	8	形成	5	解決	4
健康	55	対策	14	発達	10	必要	8	健	5	関わり	4
予防	51	力	14	共有	9	アップ	7	個別	5	教室	4
住民	49	高齢	13	子ども	9	自主	7	高める	5	継続	4
活動	48	職種	13	情報	9	世代	7	受診	5	見る	4
支援	44	介護	12	組織	9	声	7	成人	5	見守る	4
連携	42	向上	12	認知	9	知識	7	切れ目	5	見直し	4
事業	28	意識	11	普及	9	業務	6	展開	5	行う	4
関係	21	課題	11	理解	9	構築	6	働き	5	災害	4
生活	21	強化	11	システム	8	持つ	6	同士	5	支える	4
機関	20	指導	11	環境	8	整備	6	部署	5	自ら	4
習慣	19	診断	11	教育	8	早期	6	スキル	4	自己	4
地区	19	人材	11	啓発	8	評価	6	データ	4	自身	4
ケア	18	包括	11	主体	8	訪問	6	ヘルス	4	疾病	4
推進	17	コミュニティ	10	充実	8	問題	6	安心	4		
体制	17	子育て	10	心	8	基づく	5	横断	4		

【資料編】

保健師に対する調査(職業性ストレス)

①仕事は満足だ。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	25	8.2	182	59.7	82	26.9	15	4.9	1	0.3	305
岩手県	6	6.0	65	65.0	28	28.0	1	1.0		0.0	100
宮城県	10	7.5	73	54.5	38	28.4	12	9.0	1	0.7	134
福島県	9	12.7	44	62.0	16	22.5	2	2.8		0.0	71
5年未満	5	7.6	46	69.7	10	15.2	5	7.6		0.0	66
5～10	3	6.3	26	54.2	14	29.2	4	8.3	1	2.1	48
10～20	8	9.9	49	60.5	22	27.2	2	2.5		0.0	81
20年以上	9	8.2	61	55.5	36	32.7	4	3.6		0.0	110
20代	5	10.0	32	64.0	10	20.0	3	6.0		0.0	50
30代	7	7.2	58	59.8	24	24.7	7	7.2	1	1.0	97
40代	4	4.9	53	65.4	23	28.4	1	1.2		0.0	81
50代	9	11.7	39	50.6	25	32.5	4	5.2		0.0	77
仮設・借上	3	21.4	6	42.9	4	28.6	1	7.1		0.0	14
新築	5	13.9	19	52.8	8	22.2	4	11.1		0.0	36
避難後自宅	3	9.1	20	60.6	9	27.3	1	3.0		0.0	33
避難ない	14	6.3	137	61.7	61	27.5	9	4.1	1	0.5	222

②感情面で負担になる仕事だ。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	79	25.9	153	50.2	57	18.7	14	4.6	2	0.7	305
岩手県	27	27.0	55	55.0	15	15.0	3	3.0		0.0	100
宮城県	43	32.1	58	43.3	25	18.7	6	4.5	2	1.5	134
福島県	9	12.7	40	56.3	17	23.9	5	7.0		0.0	71
5年未満	19	28.8	31	47.0	13	19.7	3	4.5		0.0	66
5～10	15	31.3	27	56.3	5	10.4		0.0	1	2.1	48
10～20	24	29.6	33	40.7	22	27.2	2	2.5		0.0	81
20年以上	21	19.1	62	56.4	17	15.5	9	8.2	1	0.9	110
20代	17	34.0	23	46.0	9	18.0	1	2.0		0.0	50
30代	27	27.8	49	50.5	18	18.6	2	2.1	1	1.0	97
40代	20	24.7	40	49.4	17	21.0	3	3.7	1	1.2	81
50代	15	19.5	41	53.2	13	16.9	8	10.4		0.0	77
仮設・借上	5	35.7	5	35.7	3	21.4	1	7.1		0.0	14
新築	11	30.6	15	41.7	6	16.7	4	11.1		0.0	36
避難後自宅	11	33.3	16	48.5	5	15.2	1	3.0		0.0	33
避難ない	52	23.4	117	52.7	43	19.4	8	3.6	2	0.9	222

③複数の人からお互いに矛盾した要求をされる。

	そくだ		まあそくだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	30	9.8	101	33.1	116	38.0	57	18.7	1	0.3	305
岩手県	9	9.0	31	31.0	43	43.0	17	17.0		0.0	100
宮城県	15	11.2	51	38.1	47	35.1	20	14.9	1	0.7	134
福島県	6	8.5	19	26.8	26	36.6	20	28.2		0.0	71
5年未満	6	9.1	21	31.8	27	40.9	12	18.2		0.0	66
5～10	7	14.6	17	35.4	14	29.2	9	18.8	1	2.1	48
10～20	7	8.6	25	30.9	29	35.8	20	24.7		0.0	81
20年以上	10	9.1	38	34.5	46	41.8	16	14.5		0.0	110
20代	4	8.0	22	44.0	17	34.0	7	14.0		0.0	50
30代	11	11.3	28	28.9	36	37.1	21	21.6	1	1.0	97
40代	6	7.4	22	27.2	34	42.0	19	23.5		0.0	81
50代	9	11.7	29	37.7	29	37.7	10	13.0		0.0	77
仮設・借上	2	14.3	5	35.7	4	28.6	3	21.4		0.0	14
新築	6	16.7	13	36.1	12	33.3	5	13.9		0.0	36
避難後自宅	7	21.2	8	24.2	12	36.4	6	18.2		0.0	33
避難ない	15	6.8	75	33.8	88	39.6	43	19.4	1	0.5	222

④自分の責務や責任が何かであるかわかっている。

	そくだ		まあそくだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	76	24.9	210	68.9	16	5.2	2	0.7	1	0.3	305
岩手県	27	27.0	68	68.0	4	4.0	1	1.0		0.0	100
宮城県	31	23.1	93	69.4	8	6.0	1	0.7	1	0.7	134
福島県	18	25.4	49	69.0	4	5.6		0.0		0.0	71
5年未満	11	16.7	50	75.8	4	6.1	1	1.5		0.0	66
5～10	17	35.4	26	54.2	4	8.3		0.0	1	2.1	48
10～20	17	21.0	60	74.1	3	3.7	1	1.2		0.0	81
20年以上	31	28.2	74	67.3	5	4.5		0.0		0.0	110
20代	10	20.0	38	76.0	2	4.0		0.0		0.0	50
30代	22	22.7	64	66.0	8	8.2	2	2.1	1	1.0	97
40代	20	24.7	58	71.6	3	3.7		0.0		0.0	81
50代	24	31.2	50	64.9	3	3.9		0.0		0.0	77
仮設・借上	5	35.7	8	57.1	1	7.1		0.0		0.0	14
新築	8	22.2	27	75.0	1	2.8		0.0		0.0	36
避難後自宅	9	27.3	24	72.7		0.0		0.0		0.0	33
避難ない	54	24.3	151	68.0	14	6.3	2	0.9	1	0.5	222

⑤仕事で自分の長所をのばす機会がある。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	38	12.5	184	60.3	66	21.6	15	4.9	2	0.7	305
岩手県	12	12.0	64	64.0	21	21.0	3	3.0		0.0	100
宮城県	15	11.2	77	57.5	29	21.6	11	8.2	2	1.5	134
福島県	11	15.5	43	60.6	16	22.5	1	1.4		0.0	71
5年未満	9	13.6	40	60.6	12	18.2	5	7.6		0.0	66
5～10	8	16.7	26	54.2	10	20.8	3	6.3	1	2.1	48
10～20	12	14.8	51	63.0	16	19.8	2	2.5		0.0	81
20年以上	9	8.2	67	60.9	28	25.5	5	4.5	1	0.9	110
20代	8	16.0	33	66.0	7	14.0	2	4.0		0.0	50
30代	13	13.4	53	54.6	24	24.7	6	6.2	1	1.0	97
40代	9	11.1	53	65.4	16	19.8	2	2.5	1	1.2	81
50代	8	10.4	45	58.4	19	24.7	5	6.5		0.0	77
60代	2	14.3	6	42.9	6	42.9		0.0		0.0	14
仮設・借上	6	16.7	19	52.8	8	22.2	3	8.3		0.0	36
新築	7	21.2	15	45.5	8	24.2	2	6.1	1	3.0	33
避難後自宅	23	10.4	144	64.9	44	19.8	10	4.5	1	0.5	222
避難ない											

⑥上司は、部下が能力をのばす機会が持てるように、取り図らってくれる。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	49	16.1	160	52.5	72	23.6	22	7.2	2	0.7	305
岩手県	13	13.0	56	56.0	24	24.0	7	7.0		0.0	100
宮城県	23	17.2	67	50.0	33	24.6	9	6.7	2	1.5	134
福島県	13	18.3	37	52.1	15	21.1	6	8.5		0.0	71
5年未満	13	19.7	40	60.6	10	15.2	3	4.5		0.0	66
5～10	8	16.7	21	43.8	13	27.1	5	10.4	1	2.1	48
10～20	17	21.0	37	45.7	20	24.7	7	8.6		0.0	81
20年以上	11	10.0	62	56.4	29	26.4	7	6.4	1	0.9	110
20代	11	22.0	30	60.0	7	14.0	2	4.0		0.0	50
30代	15	15.5	47	48.5	25	25.8	9	9.3	1	1.0	97
40代	15	18.5	44	54.3	17	21.0	4	4.9	1	1.2	81
50代	8	10.4	39	50.6	23	29.9	7	9.1		0.0	77
仮設・借上	3	21.4	5	35.7	5	35.7	1	7.1		0.0	14
新築	9	25.0	19	52.8	4	11.1	4	11.1		0.0	36
避難後自宅	7	21.2	14	42.4	10	30.3	1	3.0	1	3.0	33
避難ない	30	13.5	122	55.0	53	23.9	16	7.2	1	0.5	222

⑦上司は誠実な態度で対応してくれる。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	77	25.2	169	55.4	38	12.5	17	5.6	4	1.3	305
岩手県	24	24.0	58	58.0	13	13.0	4	4.0	1	1.0	100
宮城県	34	25.4	72	53.7	16	11.9	9	6.7	3	2.2	134
福島県	19	26.8	39	54.9	9	12.7	4	5.6		0.0	71
5年未満	23	34.8	32	48.5	7	10.6	4	6.1		0.0	66
5～10	14	29.2	26	54.2	6	12.5	1	2.1	1	2.1	48
10～20	21	25.9	42	51.9	10	12.3	8	9.9		0.0	81
20年以上	19	17.3	69	62.7	15	13.6	4	3.6	3	2.7	110
20代	17	34.0	28	56.0	4	8.0	1	2.0		0.0	50
30代	25	25.8	49	50.5	15	15.5	7	7.2	1	1.0	97
40代	21	25.9	45	55.6	8	9.9	4	4.9	3	3.7	81
50代	14	18.2	47	61.0	11	14.3	5	6.5		0.0	77
仮設・借上	3	21.4	9	64.3	2	14.3		0.0		0.0	14
新築	12	33.3	19	52.8	1	2.8	4	11.1		0.0	36
避難後自宅	12	36.4	14	42.4	3	9.1	3	9.1	1	3.0	33
避難ない	50	22.5	127	57.2	32	14.4	10	4.5	3	1.4	222

⑧意欲を引き出したり、キャリアに役立つ教育が行われている。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
総計	28	9.2	124	40.7	113	37.0	36	11.8	4	1.3	305
岩手県	10	10.0	41	41.0	37	37.0	11	11.0	1	1.0	100
宮城県	10	7.5	55	41.0	49	36.6	18	13.4	2	1.5	134
福島県	8	11.3	28	39.4	27	38.0	7	9.9	1	1.4	71
5年未満	9	13.6	33	50.0	20	30.3	4	6.1		0.0	66
5～10	5	10.4	20	41.7	13	27.1	8	16.7	2	4.2	48
10～20	7	8.6	34	42.0	27	33.3	13	16.0		0.0	81
20年以上	7	6.4	37	33.6	53	48.2	11	10.0	2	1.8	110
20代	7	14.0	26	52.0	14	28.0	3	6.0		0.0	50
30代	7	7.2	41	42.3	34	35.1	14	14.4	1	1.0	97
40代	8	9.9	36	44.4	26	32.1	8	9.9	3	3.7	81
50代	6	7.8	21	27.3	39	50.6	11	14.3		0.0	77
仮設・借上	1	7.1	3	21.4	8	57.1	2	14.3		0.0	14
新築	7	19.4	11	30.6	12	33.3	6	16.7		0.0	36
避難後自宅	2	6.1	15	45.5	10	30.3	5	15.2	1	3.0	33
避難ない	18	8.1	95	42.8	83	37.4	23	10.4	3	1.4	222

⑨私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている。

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
総計	38	12.5	180	59.0	71	23.3	12	3.9	4	1.3	305
岩手県	11	11.0	66	66.0	21	21.0	1	1.0	1	1.0	100
宮城県	17	12.7	76	56.7	32	23.9	7	5.2	2	1.5	134
福島県	10	14.1	38	53.5	18	25.4	4	5.6	1	1.4	71
5年未満	9	13.6	39	59.1	13	19.7	5	7.6		0.0	66
5～10	6	12.5	25	52.1	15	31.3		0.0	2	4.2	48
10～20	14	17.3	39	48.1	23	28.4	5	6.2		0.0	81
20年以上	9	8.2	77	70.0	20	18.2	2	1.8	2	1.8	110
20代	6	12.0	31	62.0	10	20.0	3	6.0		0.0	50
30代	13	13.4	52	53.6	28	28.9	3	3.1	1	1.0	97
40代	14	17.3	42	51.9	19	23.5	3	3.7	3	3.7	81
50代	5	6.5	55	71.4	14	18.2	3	3.9		0.0	77
仮設・借上	2	14.3	7	50.0	5	35.7		0.0		0.0	14
新築	7	19.4	19	52.8	8	22.2	2	5.6		0.0	36
避難後自宅	4	12.1	16	48.5	10	30.3	2	6.1	1	3.0	33
避難ない	25	11.3	138	62.2	48	21.6	8	3.6	3	1.4	222

⑩自分の仕事に誇りを感じる

	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答		総計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
総計	63	20.7	185	60.7	44	14.4	10	3.3	3	1.0	305
岩手県	25	25.0	64	64.0	9	9.0	1	1.0	1	1.0	100
宮城県	23	17.2	76	56.7	25	18.7	8	6.0	2	1.5	134
福島県	15	21.1	45	63.4	10	14.1	1	1.4		0.0	71
5年未満	17	25.8	35	53.0	9	13.6	5	7.6		0.0	66
5～10	8	16.7	26	54.2	12	25.0	1	2.1	1	2.1	48
10～20	19	23.5	50	61.7	11	13.6	1	1.2		0.0	81
20年以上	19	17.3	74	67.3	12	10.9	3	2.7	2	0.9	110
20代	15	30.0	26	52.0	6	12.0	3	6.0		0.0	50
30代	17	17.5	56	57.7	20	20.6	3	3.1	1	1.0	97
40代	15	18.5	52	64.2	10	12.3	2	2.5	2	2.5	81
50代	16	20.8	51	66.2	8	10.4	2	2.6		0.0	77
仮設・借上	3	21.4	6	42.9	5	35.7		0.0		0.0	14
新築	10	27.8	17	47.2	6	16.7	3	8.3		0.0	36
避難後自宅	6	18.2	17	51.5	7	21.2	2	6.1	1	3.0	33
避難ない	44	19.8	145	65.3	26	11.7	5	2.3	2	0.9	222

【職業ストレス 検定結果】

		①仕事の満足度				②感情面で負担になる仕事だ。				③複数の人からお互いに矛盾した要求をされる。				④自分の責務や責任が何かであるかわかっている。				⑤仕事で自分の長所をのばす機会がある。			
		N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果
	総計	304	2.71	0.68		303	2.02	0.80		304	2.66	0.89		304	3.18	0.54		303	2.81	0.71	
勤務年数	10年未満	113	2.70	0.72	0.81	113	1.91	0.75	0.07	113	2.62	0.92	0.57	113	3.16	0.57	0.53	113	2.81	0.77	1
	10年以上	191	2.72	0.66		190	2.08	0.82		191	2.68	0.88		191	3.20	0.52		190	2.81	0.67	
	20年未満	194	2.73	0.69	0.54	194	1.96	0.78	0.07	194	2.68	0.92	0.57	194	3.15	0.55	0.16	194	2.85	0.73	0.15
	20年以上	110	2.68	0.67		109	2.13	0.81		110	2.62	0.84		110	3.24	0.52		109	2.73	0.67	
年代別	30代以下	146	2.71	0.71	1	146	1.92	0.75	0.04 有意差あり	146	2.64	0.90	0.77	146	3.12	0.57	0.05	146	2.82	0.74	0.81
	40代以上	158	2.72	0.66		157	2.11	0.83		158	2.67	0.88		158	3.24	0.51		157	2.80	0.68	
避難状況	避難ない	221	2.71	0.64	0.8	220	2.03	0.76	0.69	221	2.72	0.85	0.04 有意差あり	221	3.16	0.56	0.25	221	2.81	0.67	0.84
	避難あり	83	2.73	0.78		83	1.99	0.88		83	2.49	0.97		83	3.24	0.48		82	2.79	0.81	
		⑥上司は、部下が能力をのばす機会が持てるように、取り回してくれる				⑦上司は誠実な態度で対応してくれる。				⑧意欲を引き出したり、キャリアに役立つ教育が行われている。				⑨私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている。				⑩自分の仕事に誇りを感じる			
		N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果	N数	平均	標準偏差	検定結果
	総計	303	2.78	0.80		301	3.02	0.78		301	2.48	0.82		301	2.81	0.70		302	3.00	0.70	
勤務年数	10年未満	113	2.84	0.80	0.29	113	3.12	0.78	0.06	112	2.62	0.84	0.024 有意差あり	112	2.79	0.72	0.72	113	2.93	0.78	0.21
	10年以上	190	2.74	0.80		188	2.95	0.77		189	2.40	0.80		189	2.82	0.68		189	3.04	0.64	
	20年未満	194	2.82	0.83	0.25	194	3.05	0.83	0.31	193	2.54	0.85	0.08	193	2.78	0.76	0.30	194	2.99	0.73	0.81
	20年以上	109	2.71	0.73		107	2.96	0.68		108	2.37	0.75		108	2.86	0.57		108	3.01	0.63	
年代別	30代以下	146	2.81	0.81	0.52	146	3.05	0.80	0.51	146	2.56	0.82	0.17	146	2.79	0.71	0.62	146	2.96	0.75	0.38
	40代以上	157	2.75	0.79		155	2.99	0.76		155	2.43	0.82		155	2.83	0.68		156	3.03	0.64	
避難状況	避難ない	221	2.75	0.78	0.34	199	2.99	0.75	0.33	219	2.49	0.79	0.64	219	2.82	0.67	0.66	220	3.04	0.64	0.14
	避難あり	82	2.85	0.86		82	3.09	0.86		82	2.44	0.90		82	2.78	0.77		82	2.89	0.83	